

# 平成22年度全国学力・学習状況調査

## —柏原市における結果の概要について—

### 調査の目的

1. 全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
2. 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
3. 各学校が各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

### 調査の概要

- |         |  |
|---------|--|
| 1. 調査日  | 平成22年4月20日（火）  |
| 2. 対象学年 | 小学校6年生・中学校3年生の全児童・生徒                                 |
| 3. 調査内容 | 小学校6年生 国語AとB・算数AとB・質問紙調査<br>中学校3年生 国語AとB・数学AとB・質問紙調査 |

#### 問題A

- 主として「知識」に関する問題
- 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- 実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

#### 問題B

- 主として「活用」に関する問題
- 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容
- 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容

※ B問題は、実生活を想定した問題という点では、PISA型に類似しており新しい傾向の問題と言えます。

#### 質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等について77問の設問に選択式で答える問題

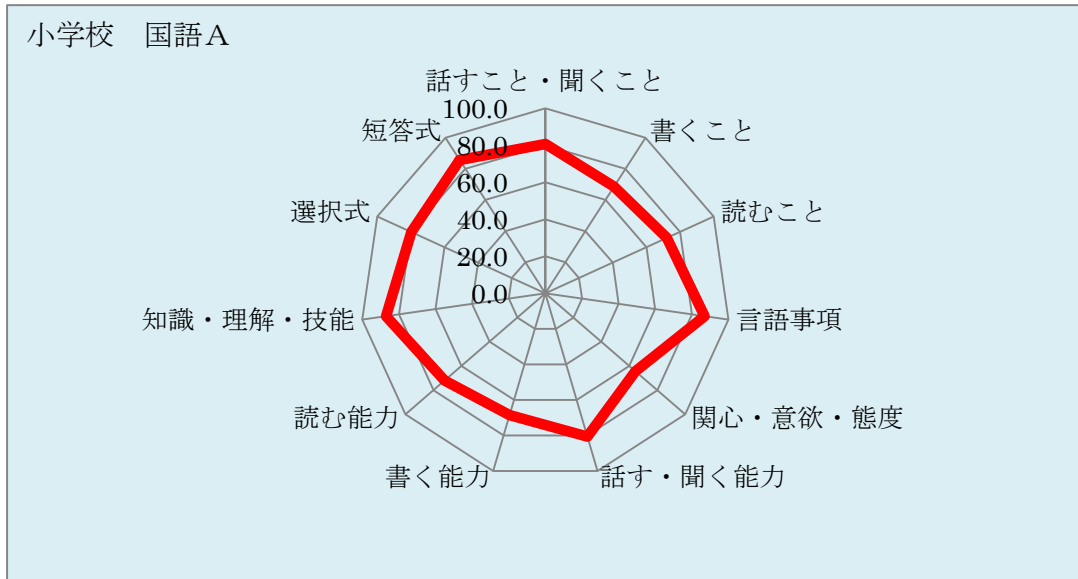
## 調査の結果の公表

- この調査から測定できるのは学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえ、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮し、結果の概要をお知らせします。
- 他校との優劣の比較が目的ではないことを再確認するとともに、柏原市全体の児童生徒の現状を十分に把握して、今後の教育施策、教育実践に反映させ、「生きる力」を育むことに活用します。
- 知育、徳育、体育を含めた広い意味で学力向上に役立てることを目的として、公表にあたっては、学校名を明らかにしません。

## **各教科別の調査結果の概要**

# 各教科別の調査結果の概要

## ①小学校国語A（主として知識に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

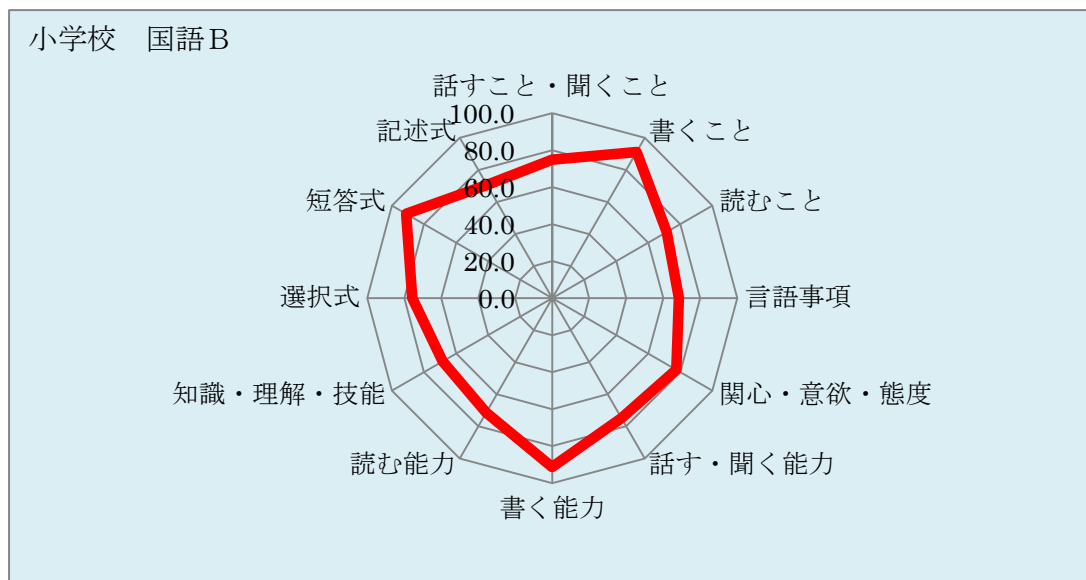
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1
	書くこと	2
	読むこと	2
	言語事項	1 1
評価の観点	(国語への) 関心・意欲・態度	1
	話す・聞く能力	1
	書く能力	2
	読む能力	2
	(言語についての) 知識・理解・技能	1 1
問題形式	選択式	5
	短答式	1 0
	記述式	0

平均正答率

本市	大阪府（公立）	全国（公立）
83.6%	81.9%	83.3%

「書くこと」「読むこと」「関心・意欲・態度」に課題が見られます。

## ②小学校国語B（主として活用に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

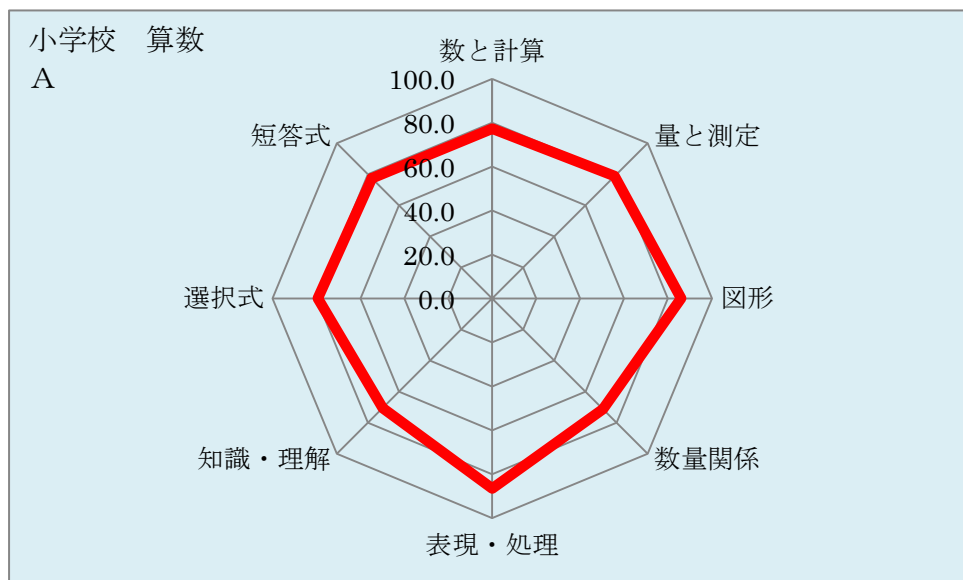
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4
	書くこと	2
	読むこと	4
	言語事項	1
評価の観点	(国語への) 関心・意欲・態度	6
	話す・聞く能力	4
	書く能力	2
	読む能力	4
	(言語についての) 知識・理解・技能	1
問題形式	選択式	4
	短答式	2
	記述式	4

平均正答率

本市	大阪府（公立）	全国（公立）
76.8%	75.8%	77.8%

「話すこと」「記述式」に課題があります。

### ③小学校算数A（主として知識に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

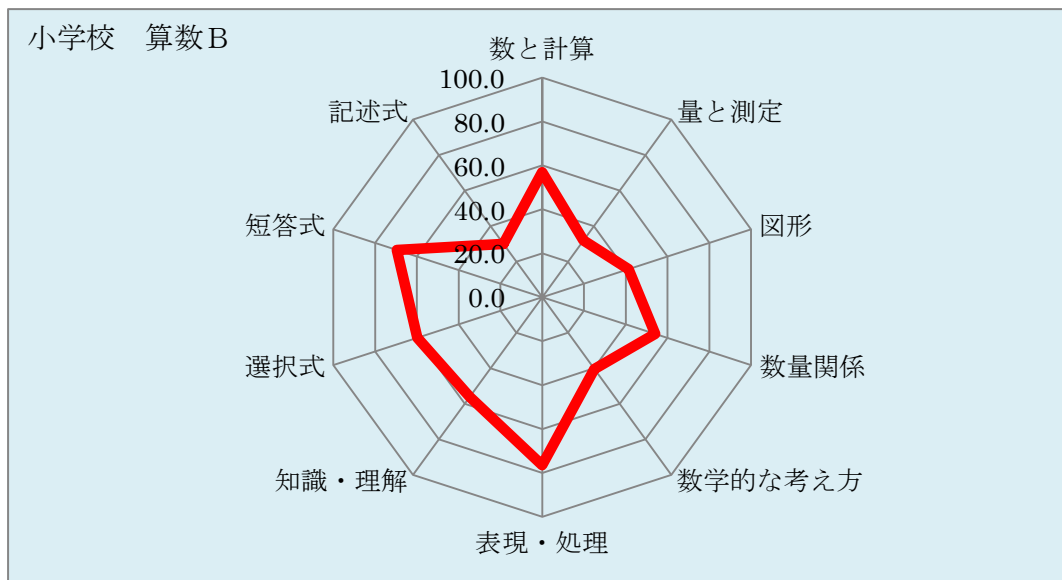
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	数と計算	8
	量と測定	5
	図形	3
	数量関係	3
評価の観点	(数量や図形についての) 表現・処理	9
	(数量や図形についての) 知識・理解	10
問題形式	選択式	7
	短答式	12

平均正答率

本市	大阪府（公立）	全国（公立）
78.1	74.7	74.2

どの分類に置いても、比較的に良好な結果でしたが、「数量関係」が昨年度に引き続き課題があります。

#### ④小学校算数B（主として活用に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

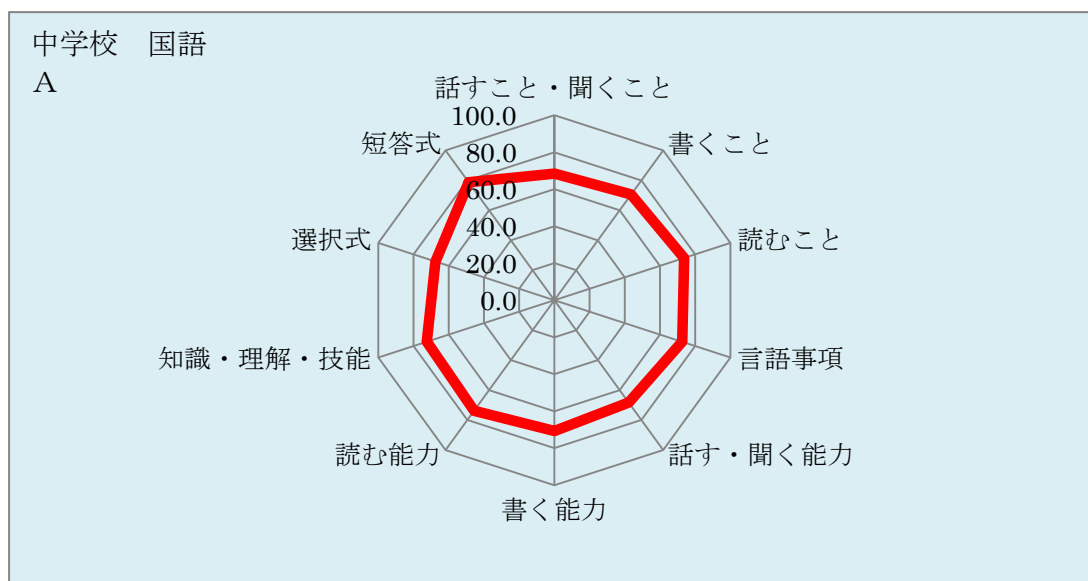
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	数と計算	1
	量と測定	1
	図形	5
	数量関係	6
評価の観点	数学的な考え方	8
	(数量や図形についての) 表現・処理	2
	(数量や図形についての) 知識・理解	2
問題形式	選択式	5
	短答式	2
	記述式	5

平均正答率

本市	大阪府（公立）	全国（公立）
49.0%	48.1%	49.3%

「数学的な考え方」に課題が見られる他、「記述的な問題」にも課題が見られます。

### ⑤中学校国語A（主として知識に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4
	書くこと	5
	読むこと	8
	言語事項	18
評価の観点	話す・聞く能力	4
	書く能力	5
	読む能力	8
	(言語についての) 知識・理解・技能	18
問題形式	選択式	21
	短答式	14

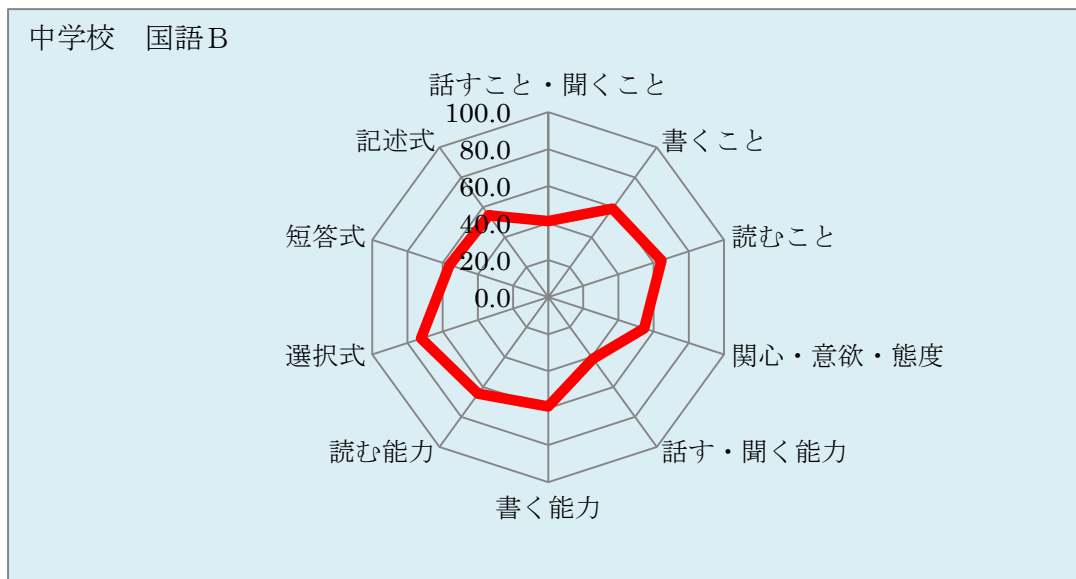
平均正答率

本市	大阪府（公立）	全国（公立）
72.1%	71.7%	75.1%

「読むこと」、「言語事項」は比較的良好ですが、「話すこと・聞くこと」に課題が見られます。



## ⑥中学校国語B（主として活用に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

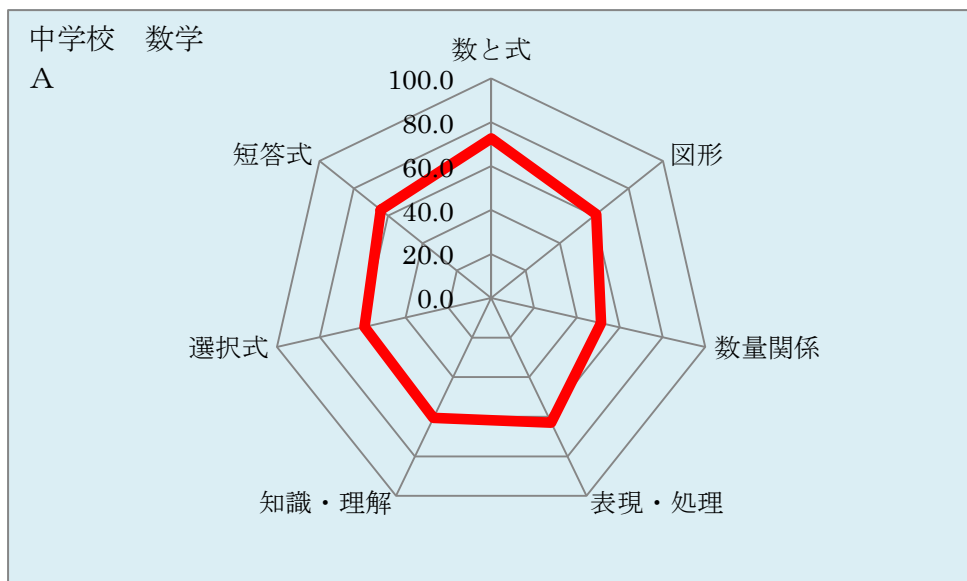
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1
	書くこと	4
	読むこと	9
評価の観点	(国語への) 関心・意欲・態度	3
	話す・聞く能力	1
	書く能力	4
	読む能力	9
問題形式	選択式	4
	短答式	3
	記述式	3

平均正答率

本市	大阪府（公立）	全国（公立）
62.1%	60.2%	65.3%

「話す・聞く」ことが課題と言えます。

⑦中学数学A（主として知識に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

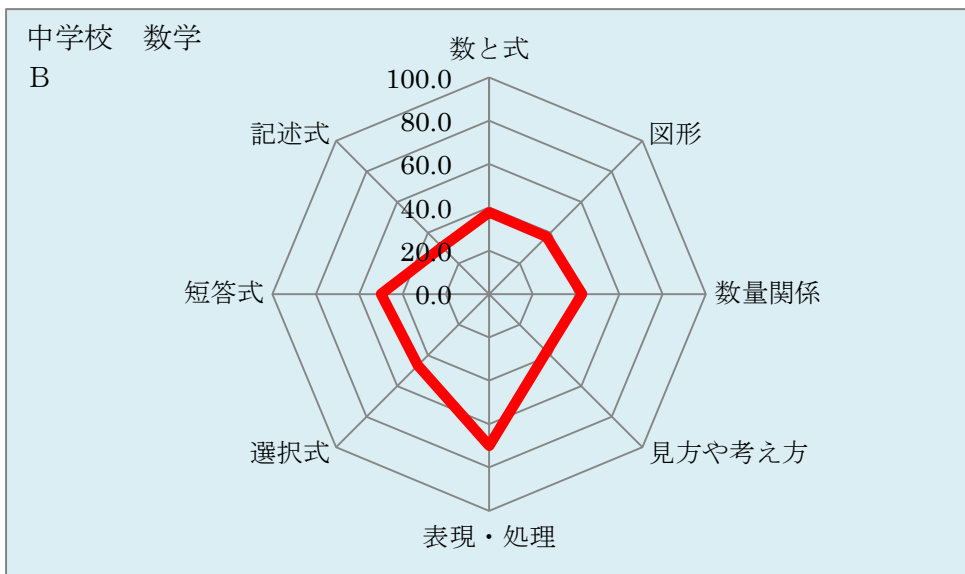
分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	数と式	12
	図形	12
	数量関係	12
評価の観点	(数学的な) 表現、処理	17
	(数量や図形などについての) 知識・理解	19
問題形式	選択式	18
	短答式	18

平均正答率

本市	大阪府（公立）	全国（公立）
61.7%	62.5%	64.6%

「数と式」は比較的良好でしたが、「数量関係」「図形」の項目で、他の項目より低い値になりました。

### ⑧中学校数学B（主として活用に関する問題）



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数
学習指導要領の領域等	数と式	4
	図形	4
	数量関係	6
評価の観点	(数学的な) 見方や考え方	1 3
	(数学的な) 表現・処理	1
問題形式	選択式	2
	短答式	5
	記述式	7

平均正答率

本市	大阪府（公立）	全国（公立）
39.8%	39.5%	43.3%

「記述式」「数学的な見方・考え方」の項目で、課題が見られます。

## **生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果の 概要**

## 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果の概要

### 基本的な生活習慣

「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」

「朝食を毎日食べていますか」

「学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか」

昨年同様に

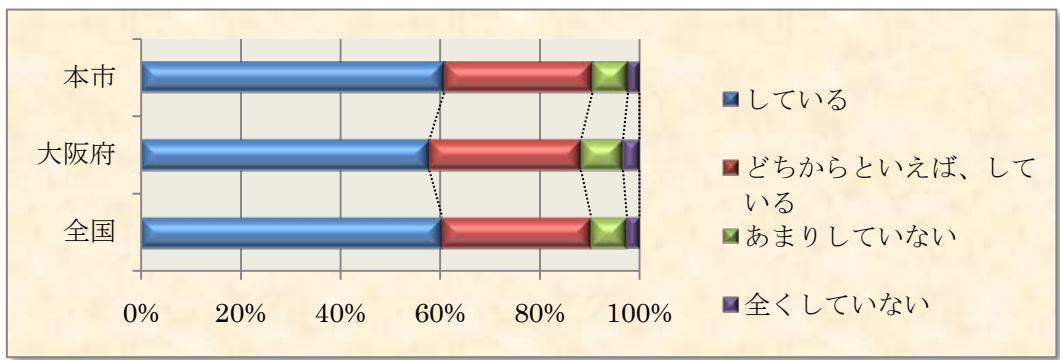
- 毎日、同じくらいの時刻に寝たり起きたりする子どもの方が、正答率が高い傾向が見られる。
- 朝食を毎日食べている子どもの方が、正答率が高い傾向にある。本市の中学生の朝食を必ず食べる割合が全国平均並である。
- 学校に持っていくものを確かめている子どもの方が、正答率が高い傾向にある。

①定時起床

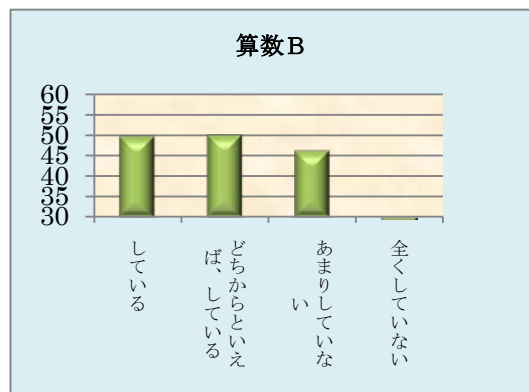
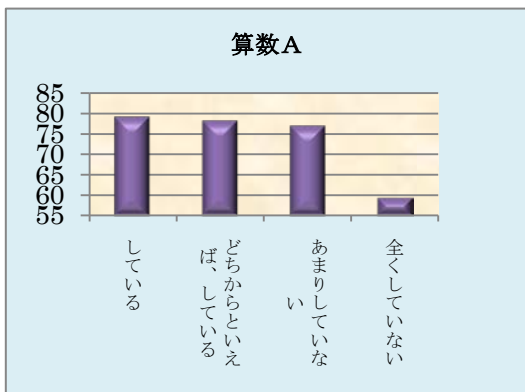
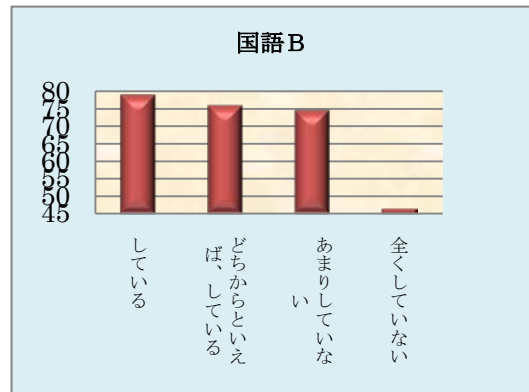
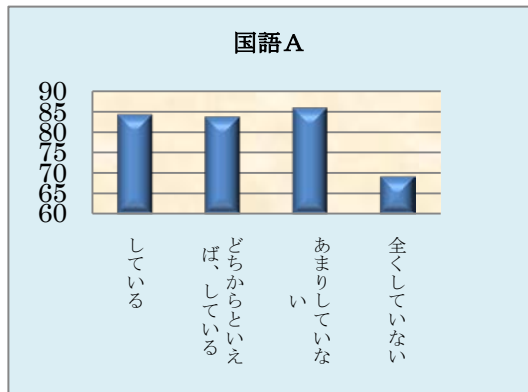
「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」

小学生

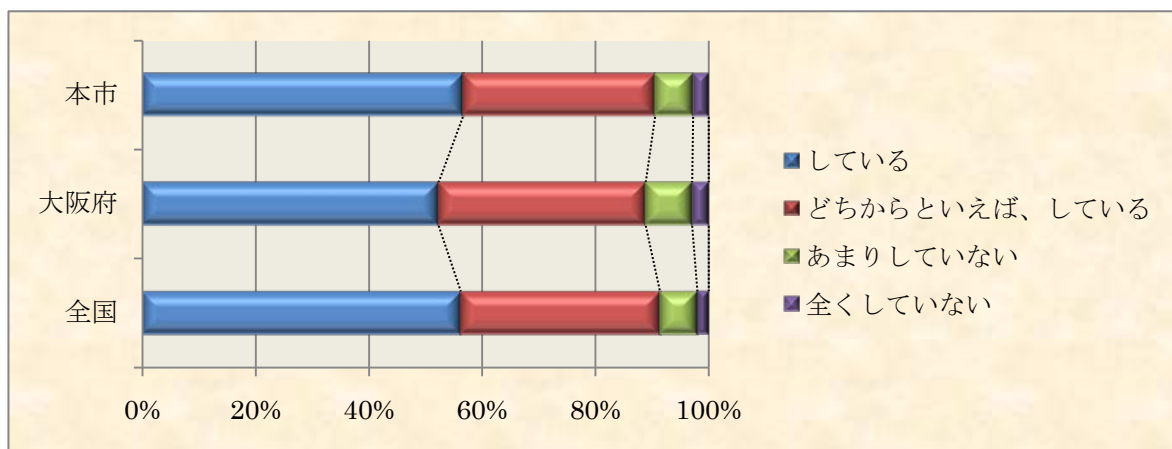
定時に起床する本市の小学生の割合は、全国平均とほぼ同じである。



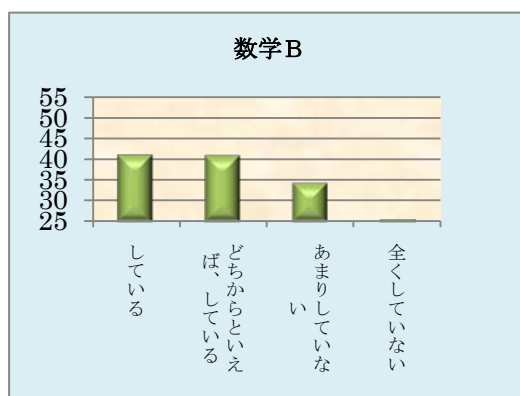
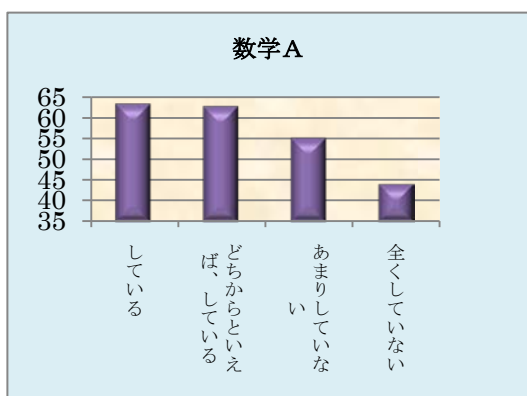
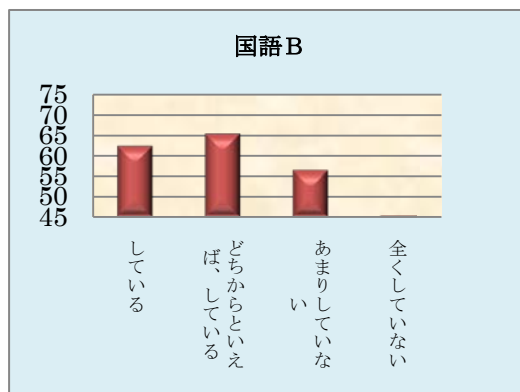
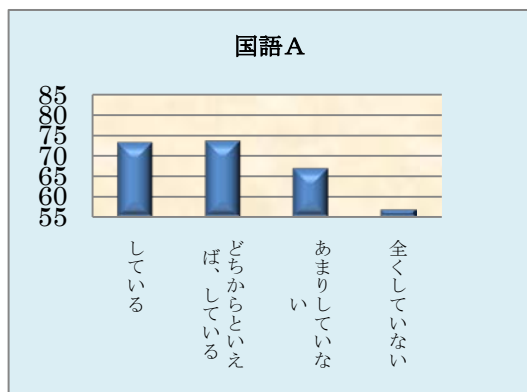
学力とのクロス集計（縦軸は平均正答率）



## 中学生



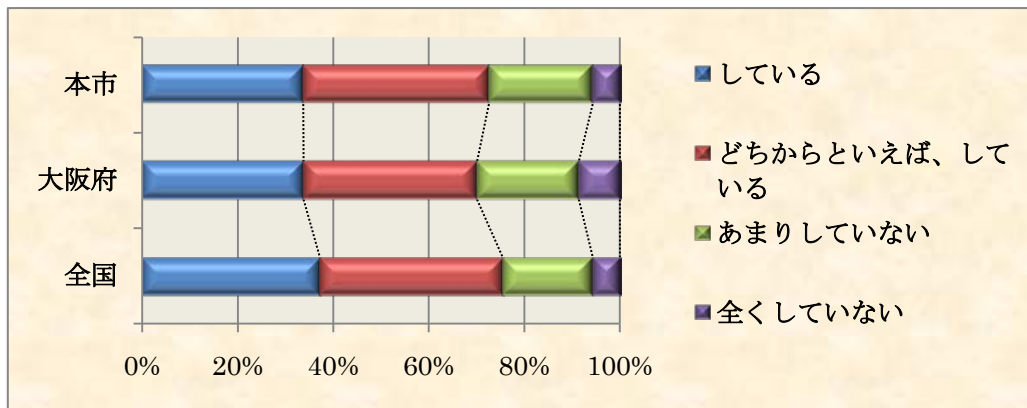
## 学力調査とのクロス集計



②定時就寝

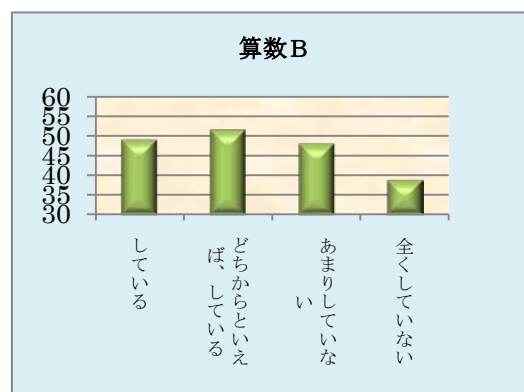
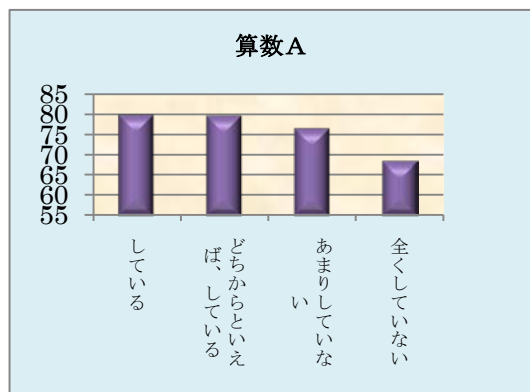
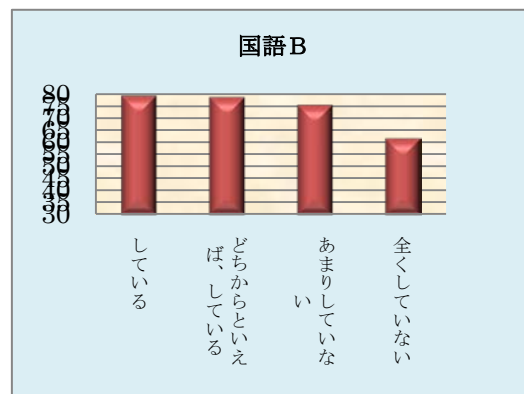
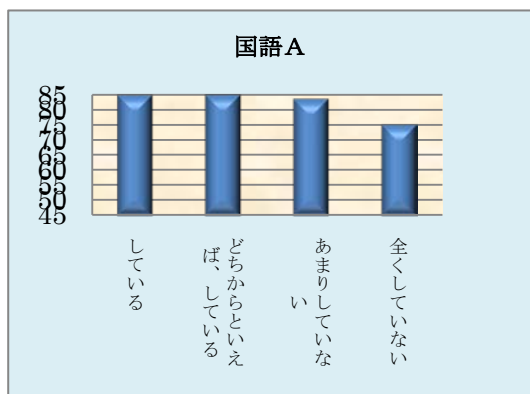
「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」

小学生



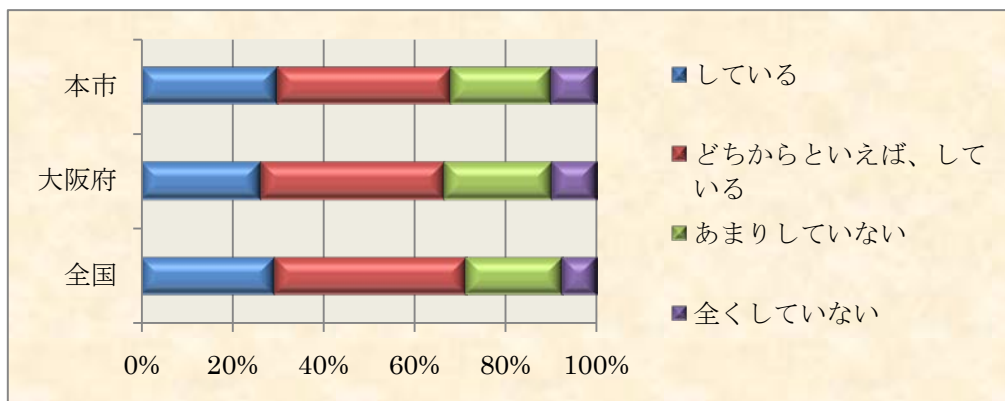
定時に就寝している本市の子どもの割合は、全国平均よりやや低い。

学力調査とのクロス集計



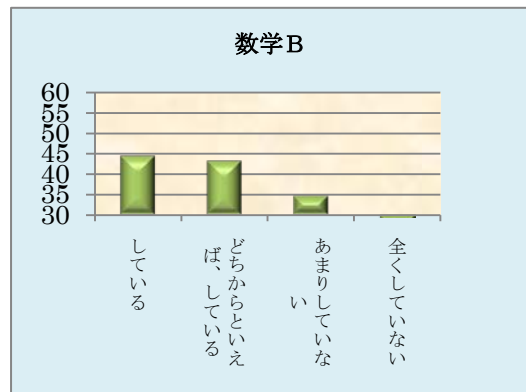
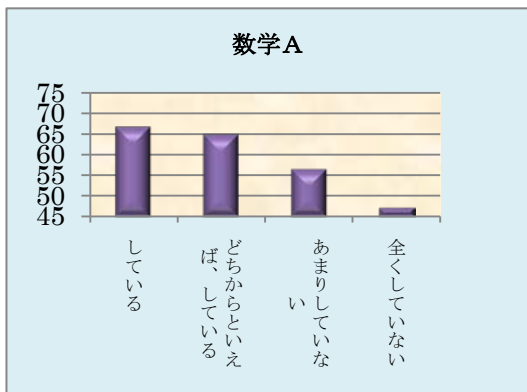
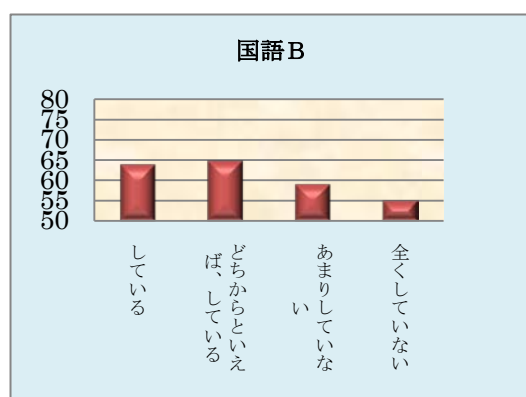
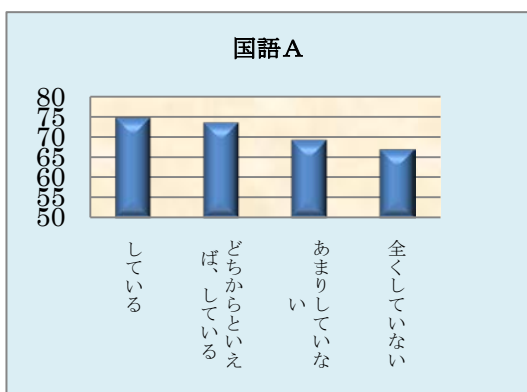


## 中学生



定時に就寝している本市の子どもの割合は全国平均並みであるが、小学生よりもその割合は低下している。

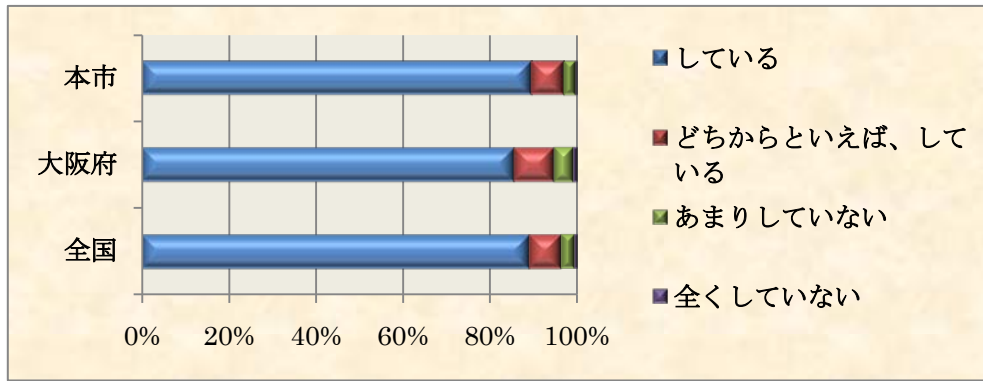
### 学力調査とのクロス集計



③朝食

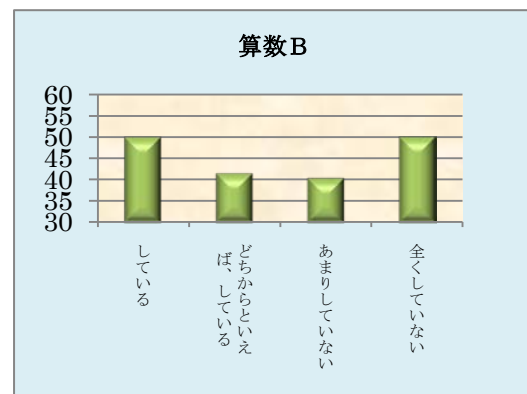
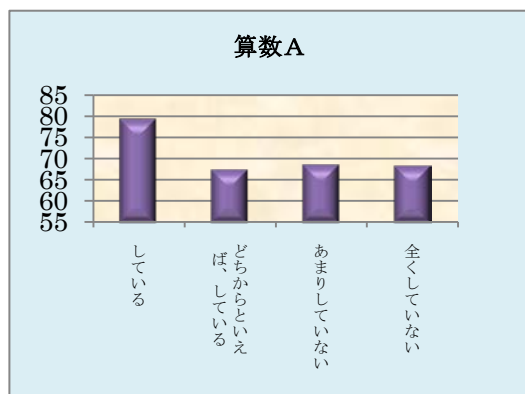
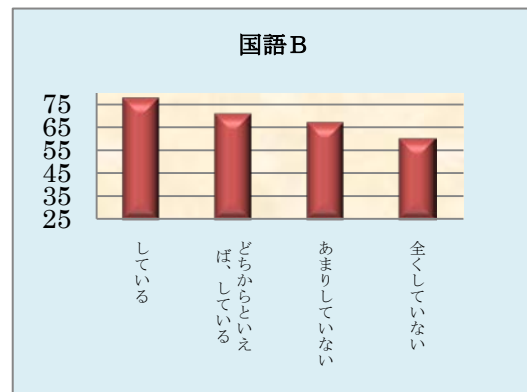
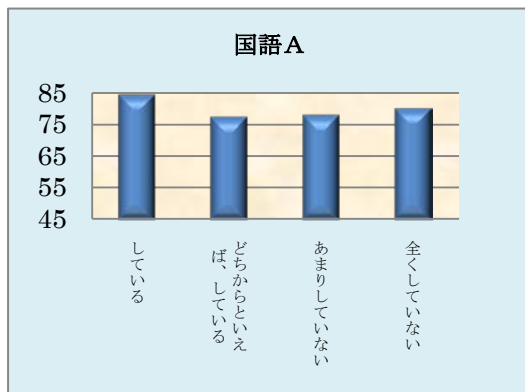
「朝食を毎日食べていますか」

小学生

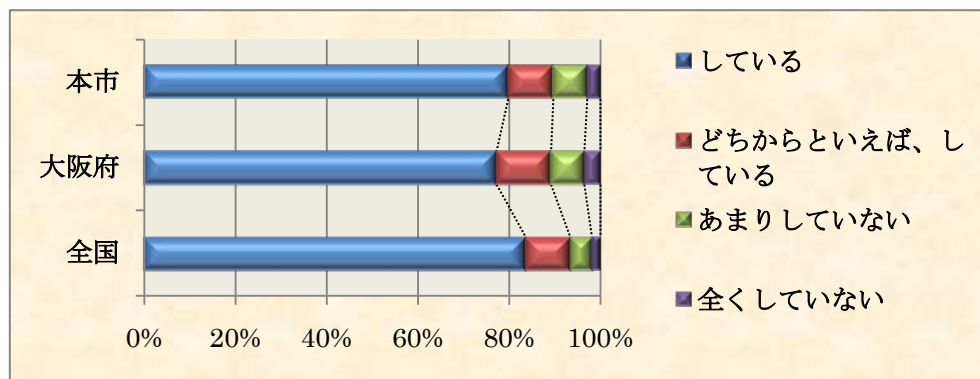


朝食を毎日食べている本市の子どもの割合は、全国平均並みである。

学力調査とのクロス集計

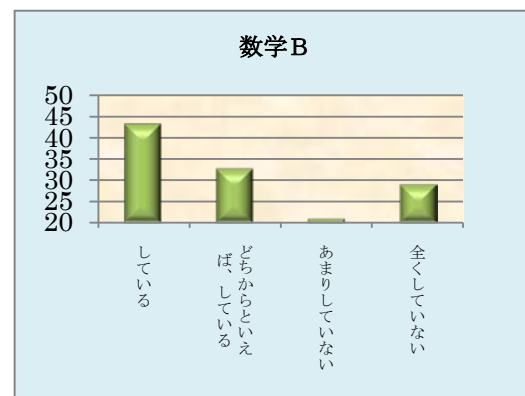
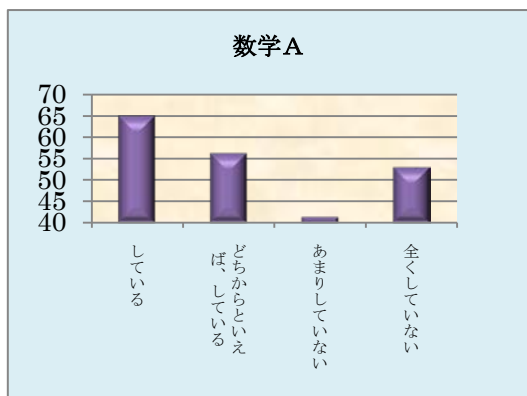
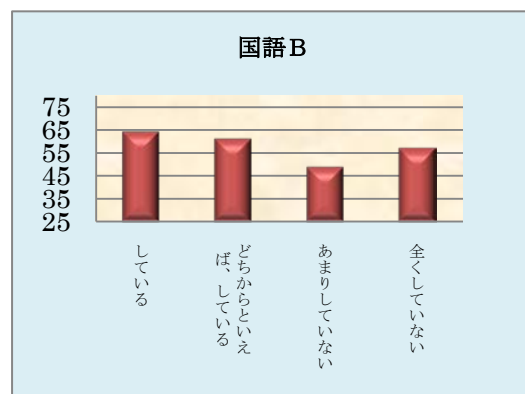
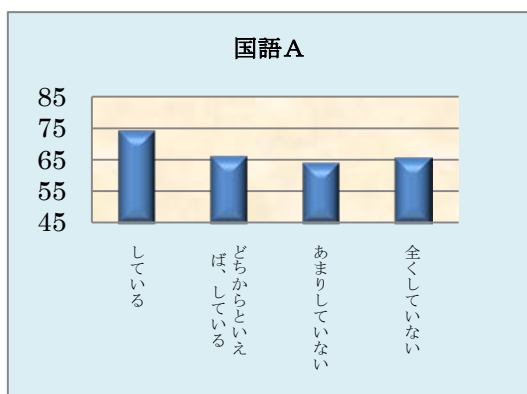


## 中学生



朝食を毎日食べている本市の子どもの割合は、小学生より若干減っているが、全国平均並である。

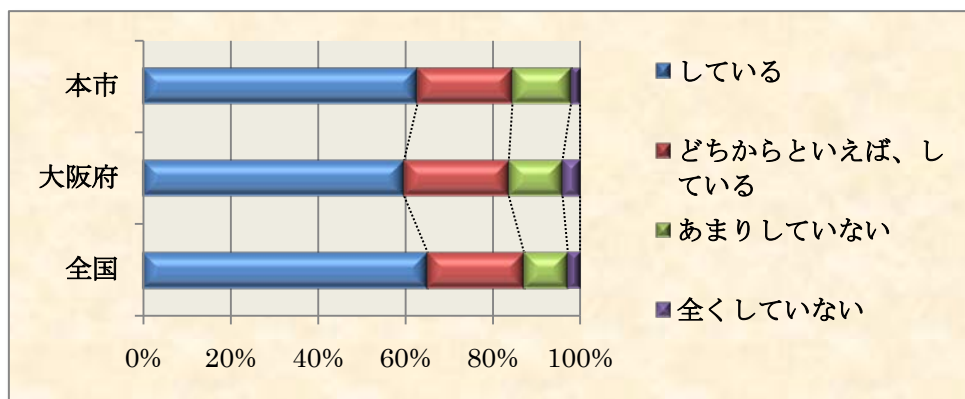
### 学力調査とのクロス集計



④学校の準備

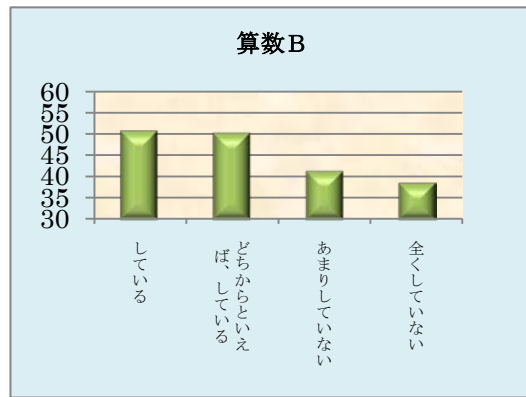
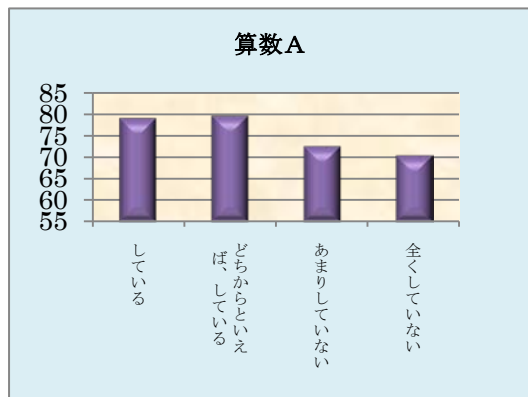
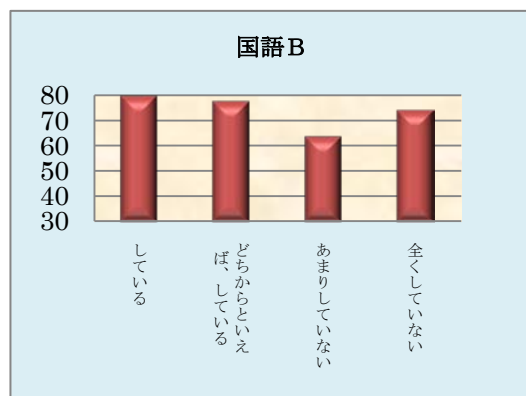
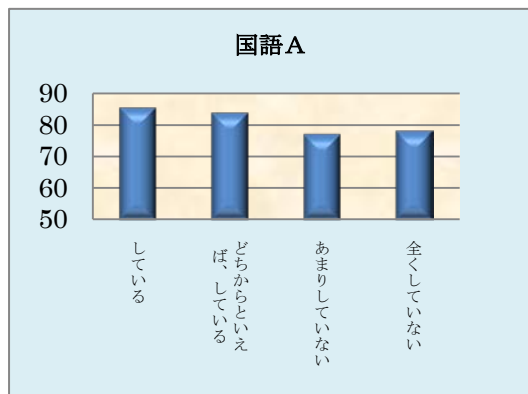
「学校に持って行くものを、前日か、その日の朝に確かめていますか」

小学生

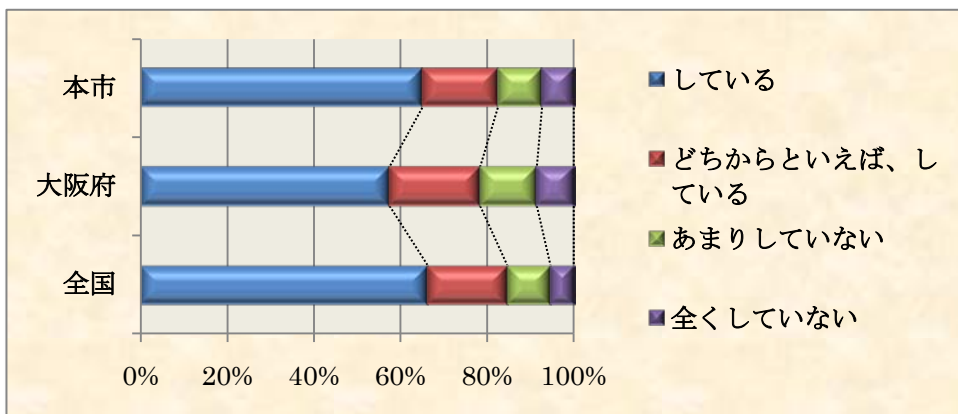


学校に持って行くものを確かめている本市の子どもの割合は、全国平均並である。

学力調査とのクロス集計

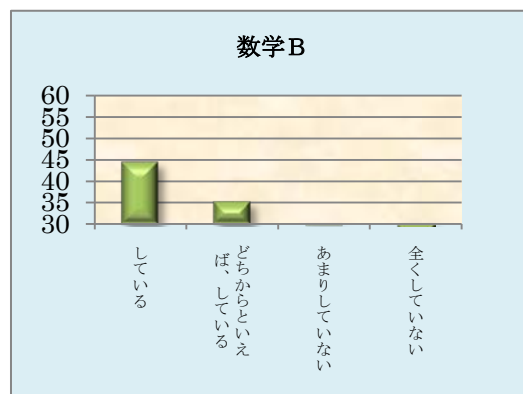
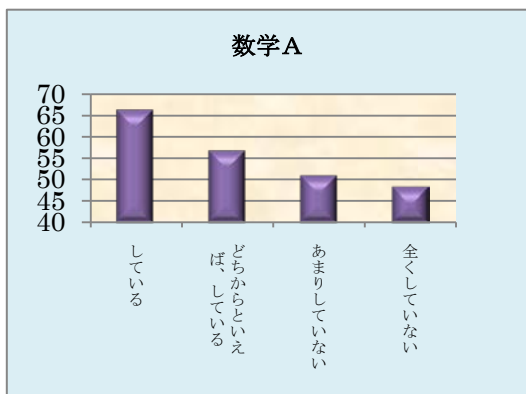
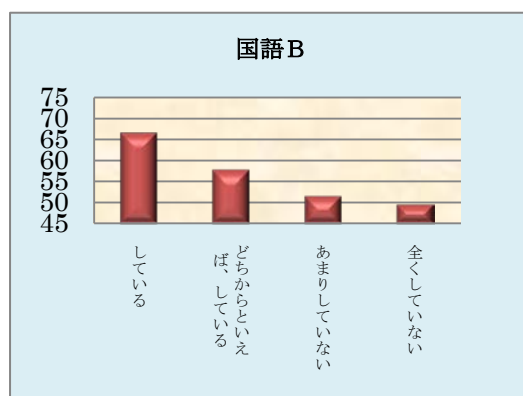
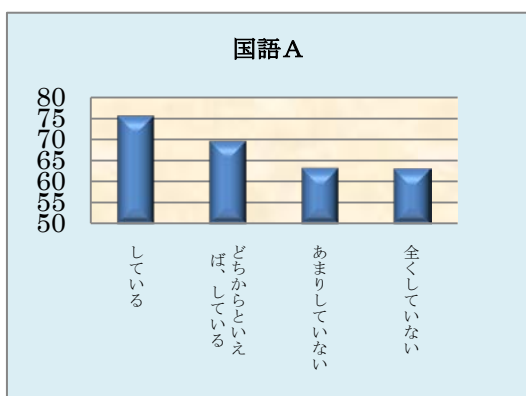


## 中学生



学校に持っていくものを確かめている本市の子どもの割合が全国平均並である。

### 学力調査とのクロス集計



## **学習習慣、意欲、関心・態度等の概要**

学習習慣、意欲、関心、態度等

「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

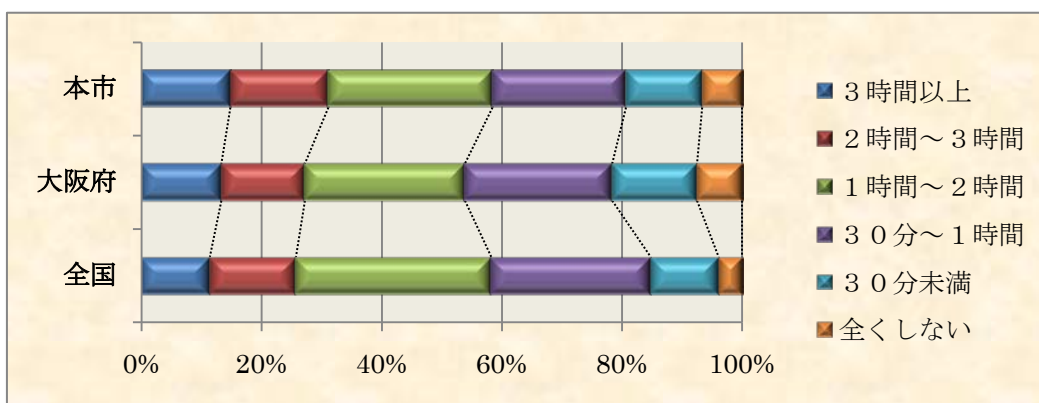
「読書は好きですか」

- ・ 普段、学校の授業時間以外で全く勉強しない子どもの正答率は低い傾向にある。
- ・ 自分で計画を立てて学習している子どもの正答率は高い傾向にある。
- ・ 読書好きの子どもの正答率は、国語だけではなく、算数（数学）も高い傾向にある。

①家庭学習の時間

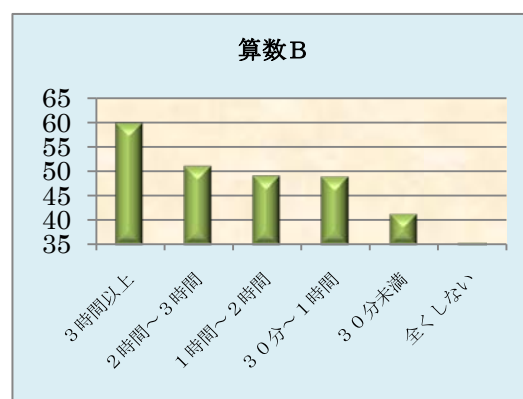
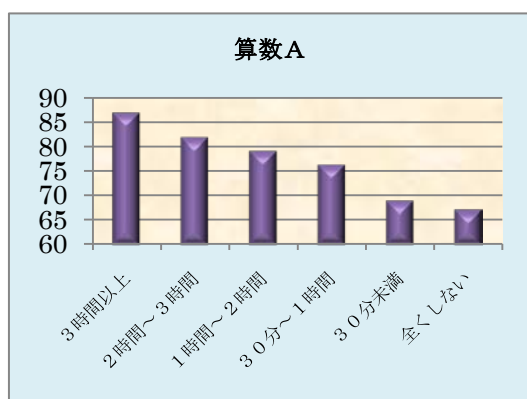
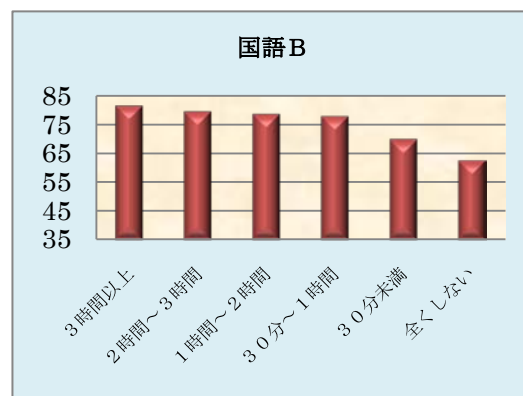
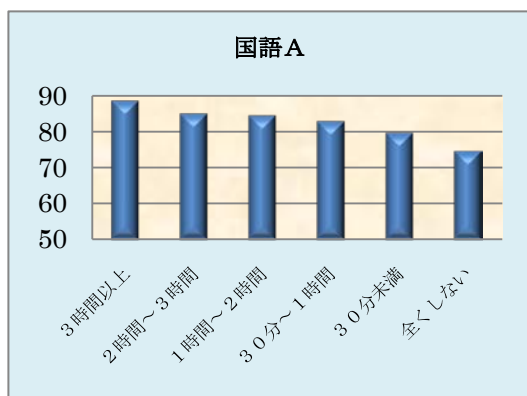
「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日  
あたりどれくらいの時間、勉強しますか」

**小学生**



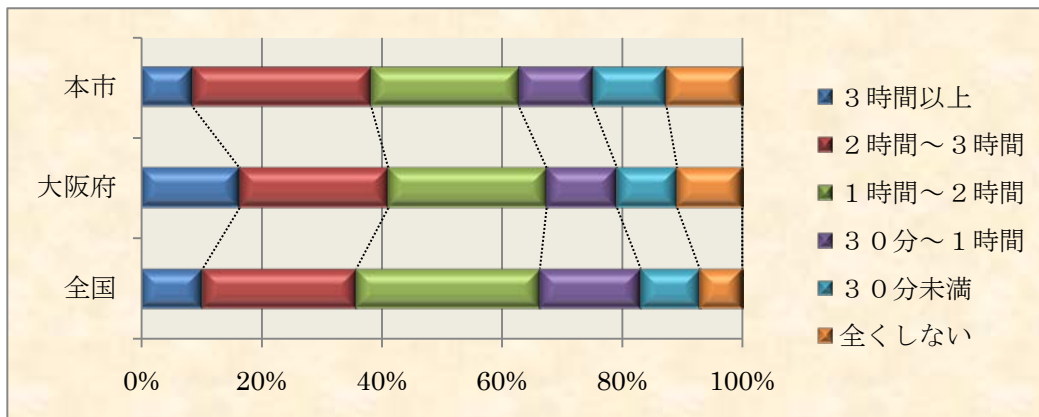
普段の学習時間が30分未満、全くしない子どもの割合が全国平均よりやや大きい。

学力調査とのクロス集計



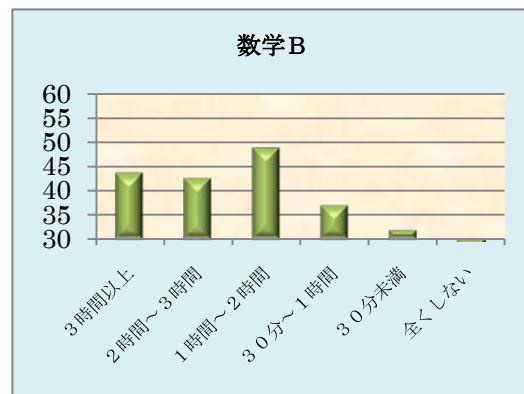
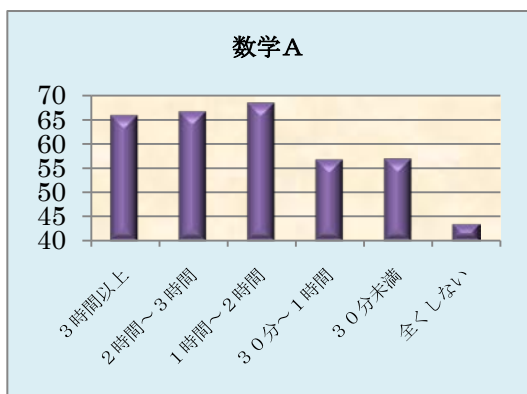
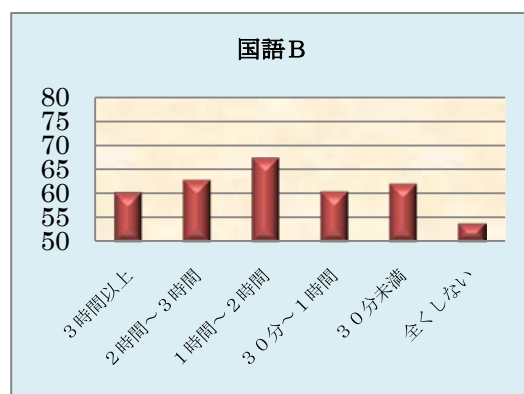
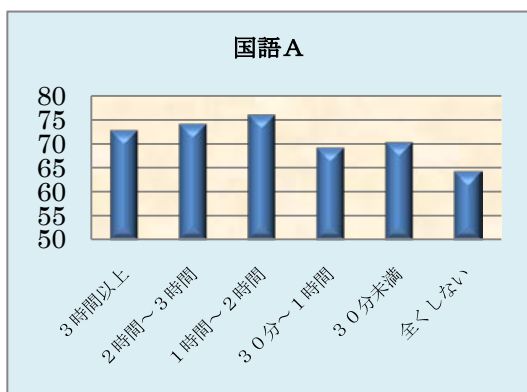


## 中学生



普段、授業時間以外で全く勉強しない子どもが1割近くもいる。

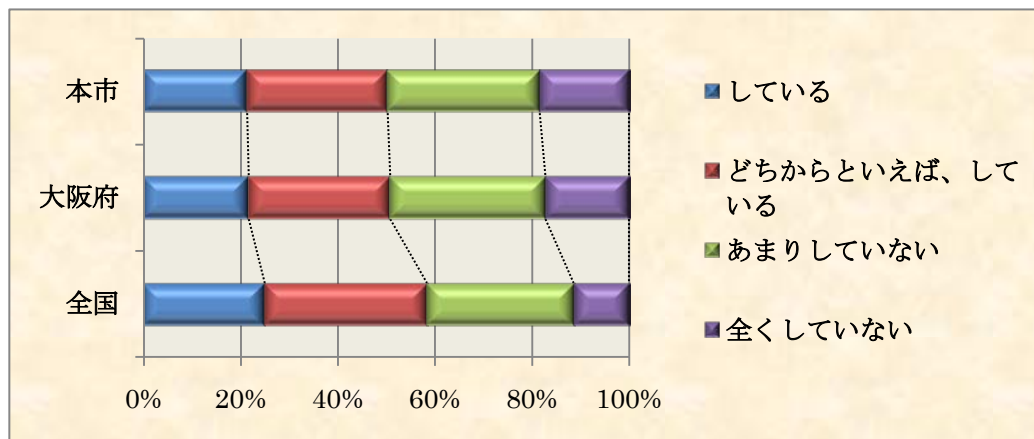
### 学力調査とのクロス集計



②学習計画

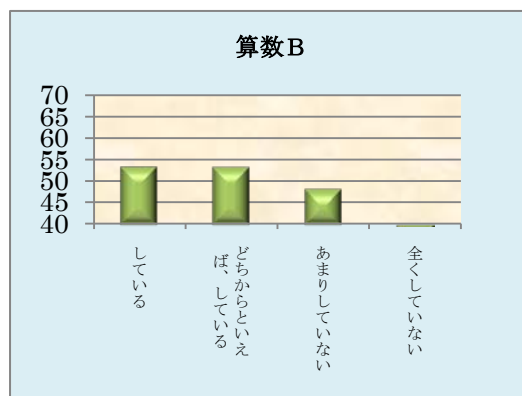
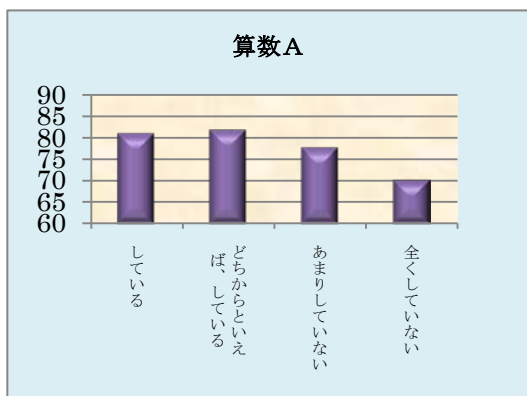
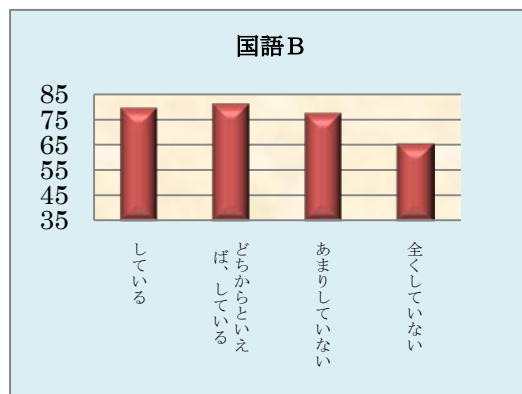
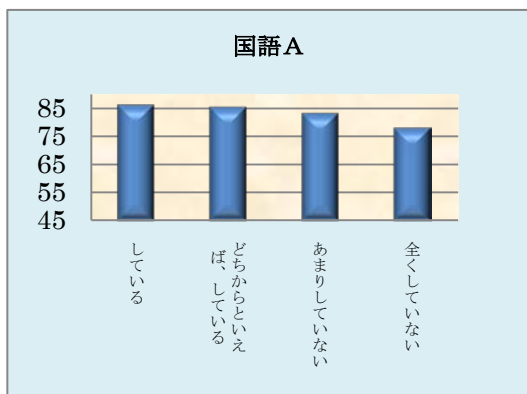
「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

小学生

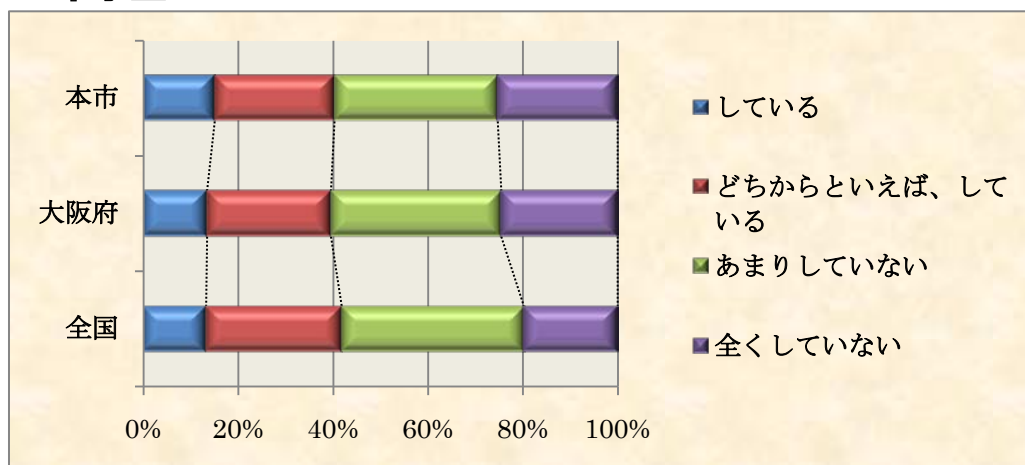


自分で計画を立てて学習している子どもの割合が本市は全国平均より低い。

学力調査とのクロス集計

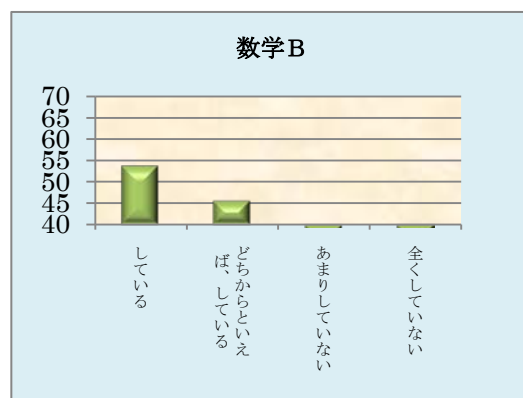
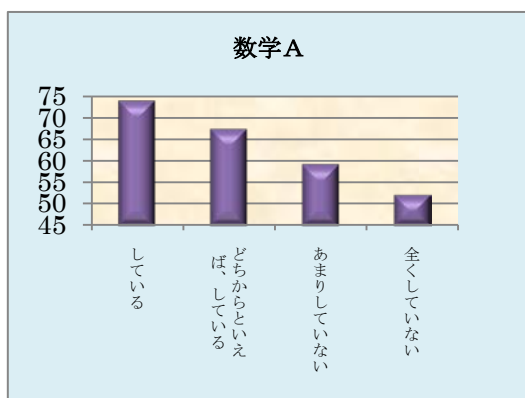
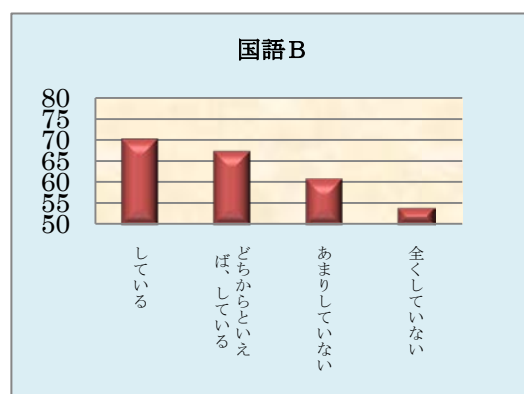
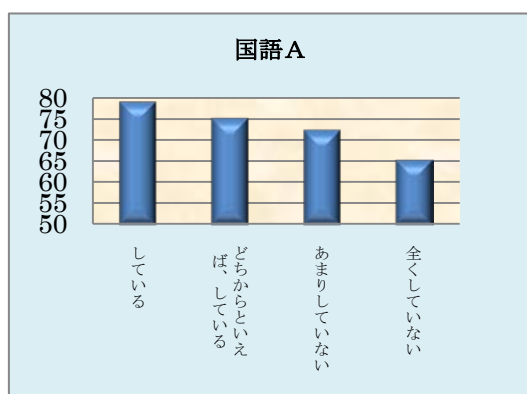


## 中学生



自分で計画を立てて勉強することを全くしていない子どもの割合が全国平均よりも高く、小学生よりも増えている。

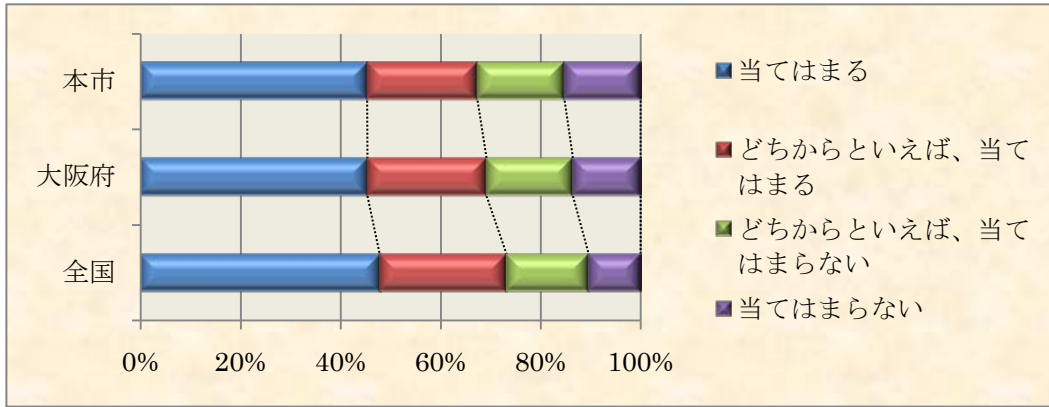
学力調査とのクロス集計



③読書

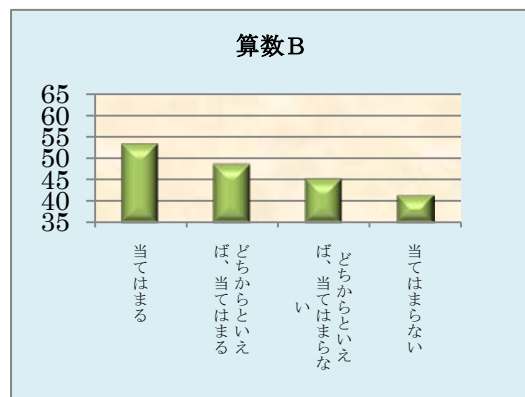
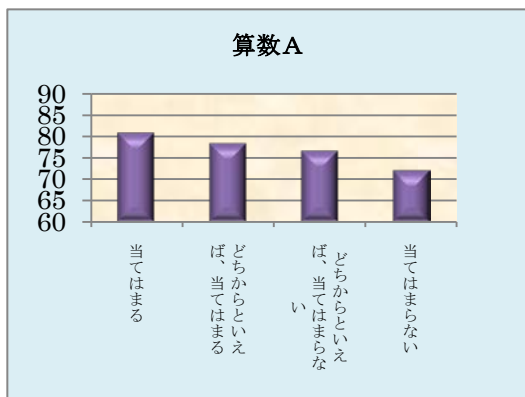
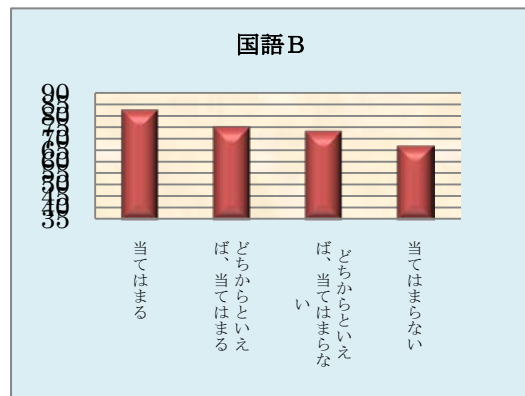
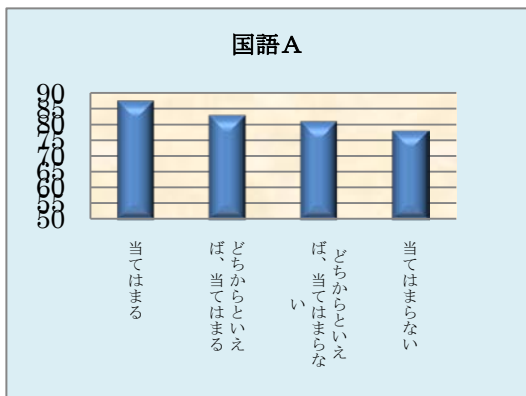
「読書は好きですか」

小学生

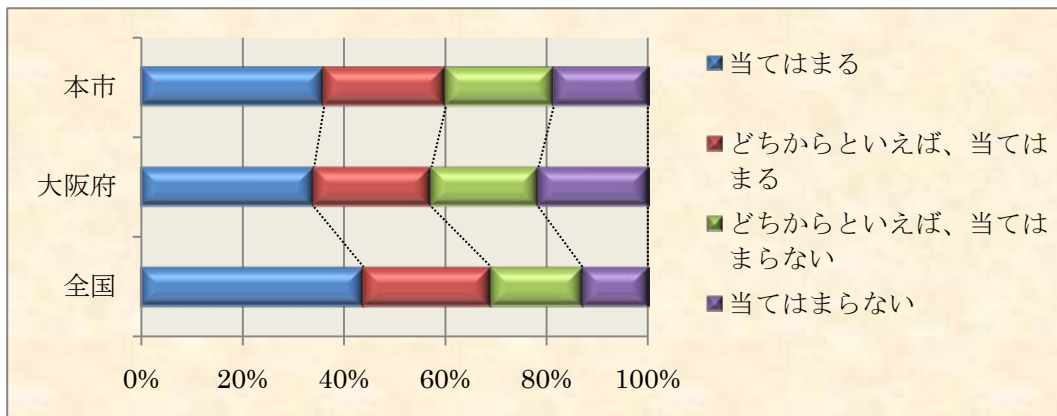


本市の読書好きの子どもの割合は、全国平均より低い。

学力調査とのクロス集計

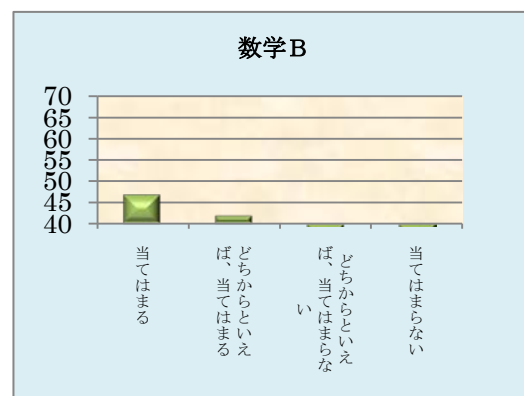
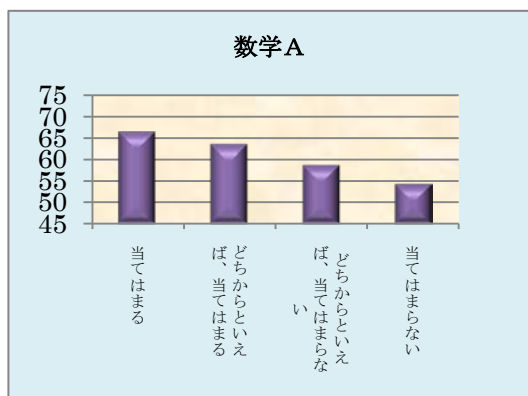
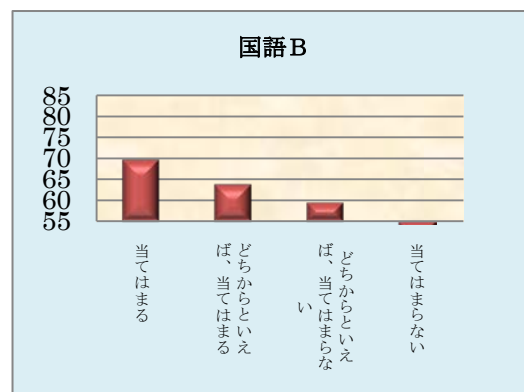
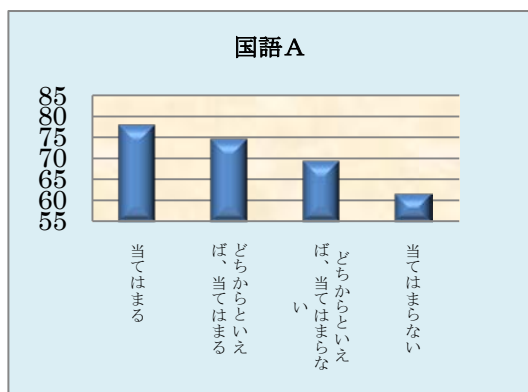


## 中学生



読書好きの子どもの割合が小学生よりも減り、本市ではその割合が全国平均よりも低い。

学力調査とのクロス集計

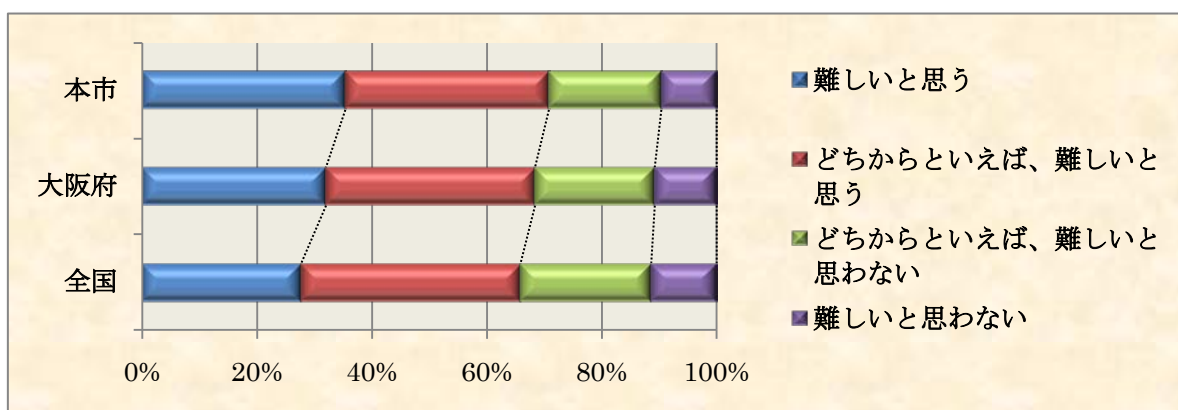


## 本市の特徴的なものから

### 自分の考えを説明したり、書いたりする

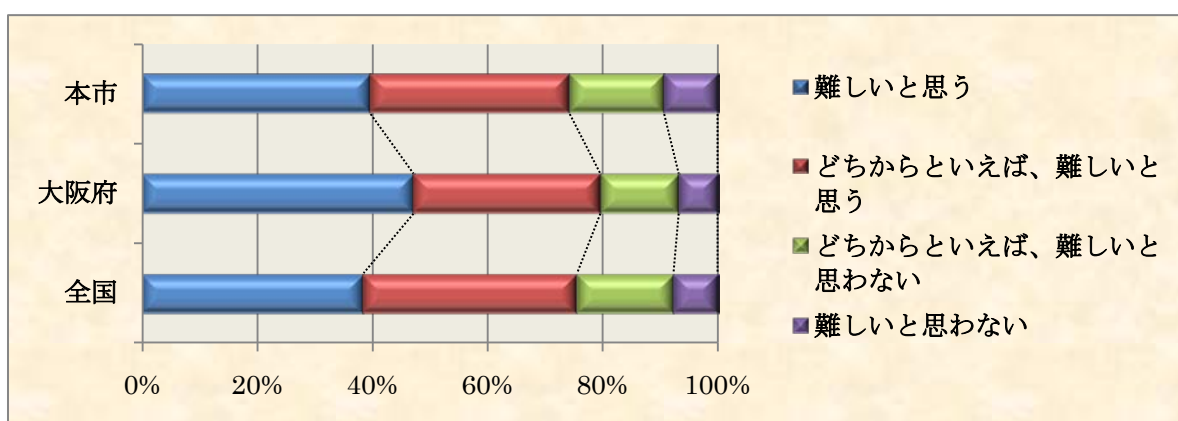
「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか」

#### 小学生



自分の考えを説明したり、書いたりすることに対して難しいと感じている子どもの割合が、全国平均より9ポイントも高い。

#### 中学生

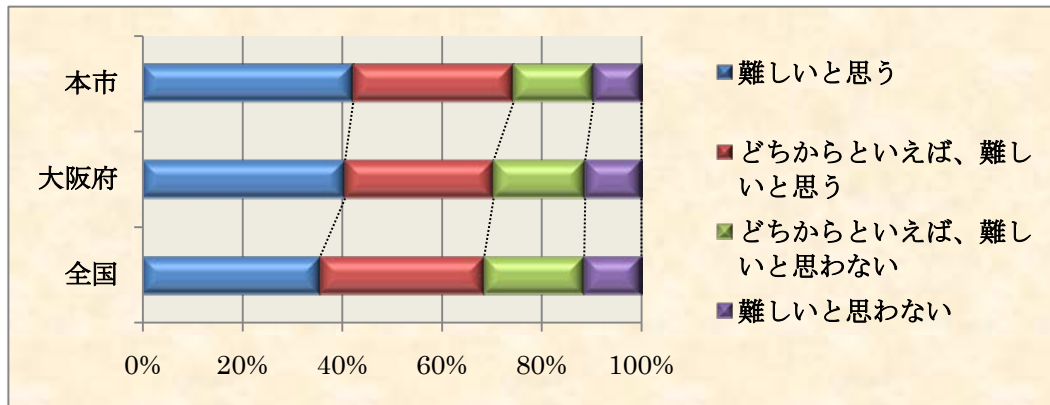


自分の考えを説明したり、書いたりすることに対して難しいと感じている子どもの割合が小学生より増え、全国平均よりも高い。

## 文章を書く

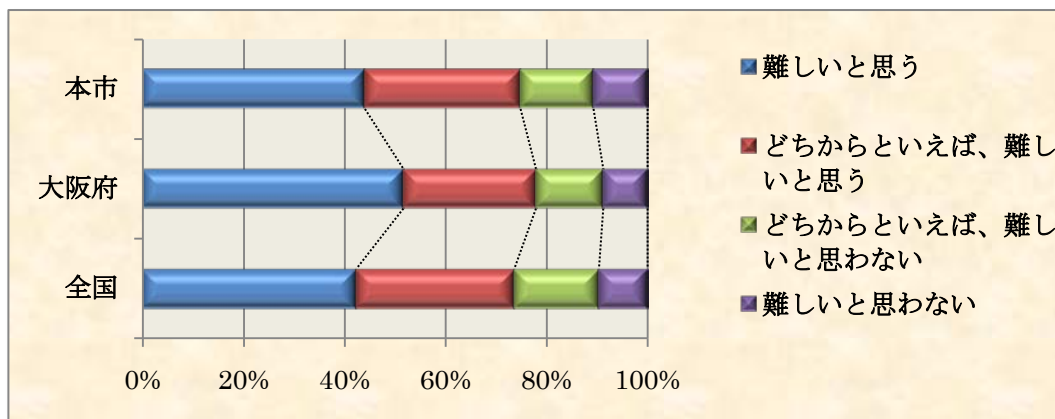
「400字づめ原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか」

### 小学生



本市では文章を書くことに対して難しいと感じている子どもの割合が、全国平均より高い。

### 中学生

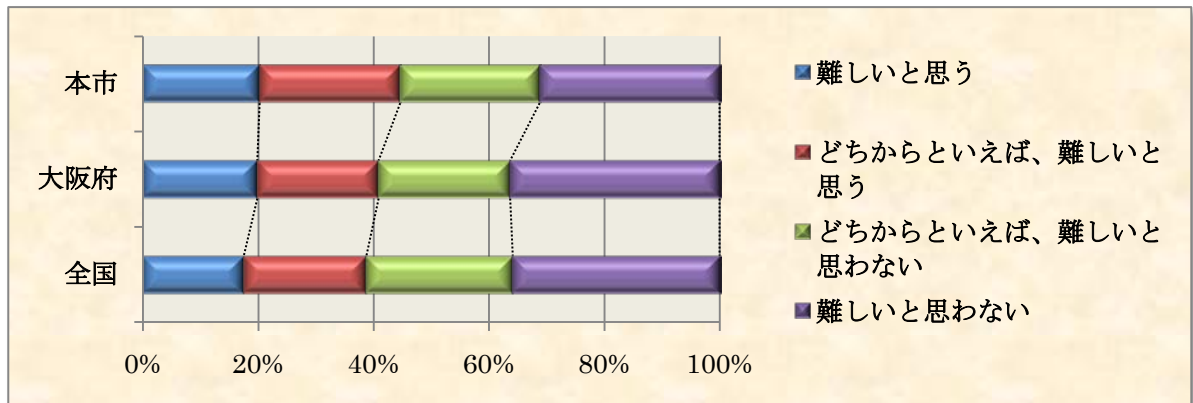


文章を書くことに対して難しいと感じている子どもの割合が、小学生よりやや増えて、全国平均より高い。

## 長文を読解する

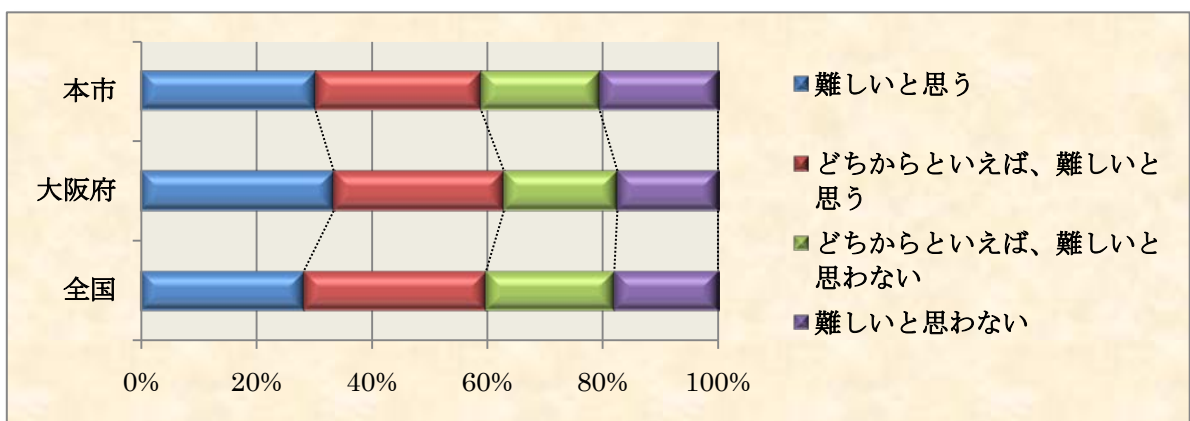
「国語B－（小）2（中）1の問題にあるような、長い文章を読むのは難しかったですか」

### 小学生



長い文章を読むのは難しいと考えている子どもの割合が、本市では全国平均よりも高い。

### 中学生



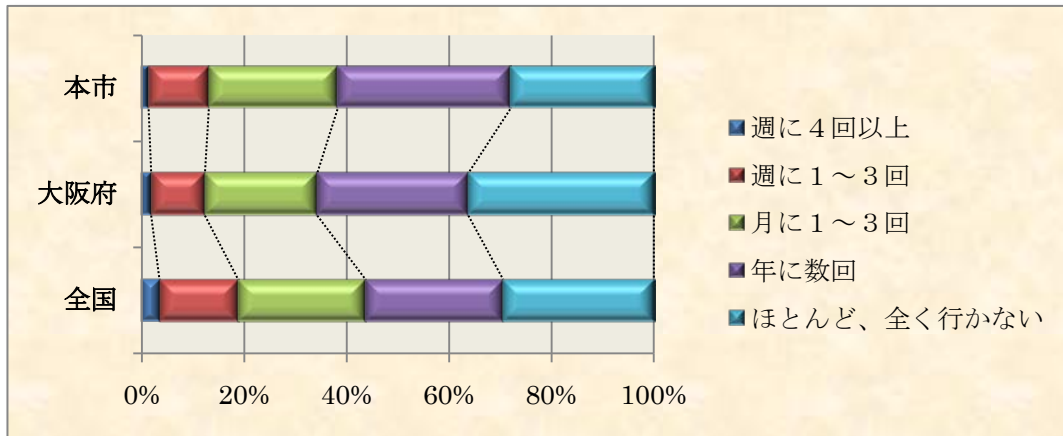
長い文章を読むのは難しいと考えている子どもの割合が、本市では全国平均よりも高い。



## 図書館の利用

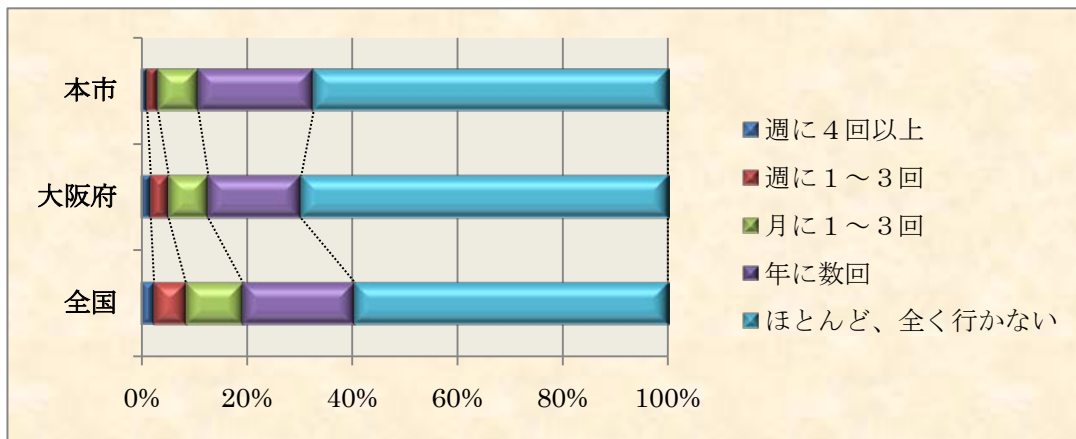
「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか」

### 小学生



本市の子ども図書館の利用頻度は、全国平均に比べて少ない。

### 中学生

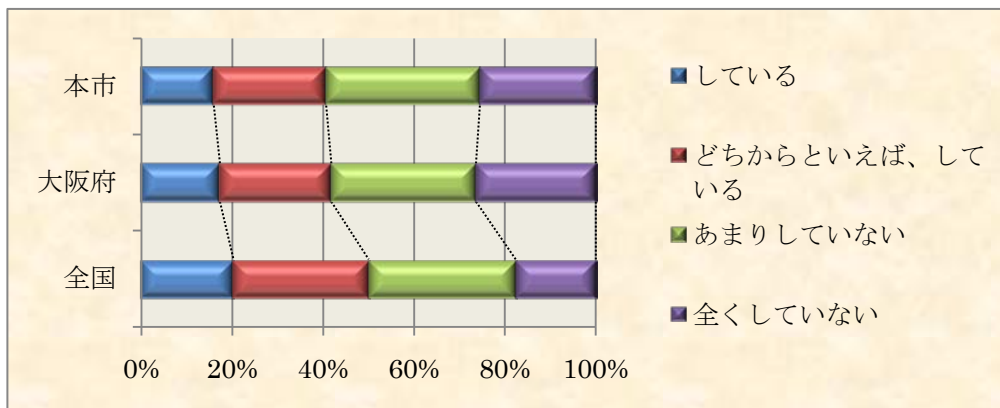


小学生と比べて図書館にほとんど、全く行かない子どもの割合が増えている。

## 苦手教科の勉強

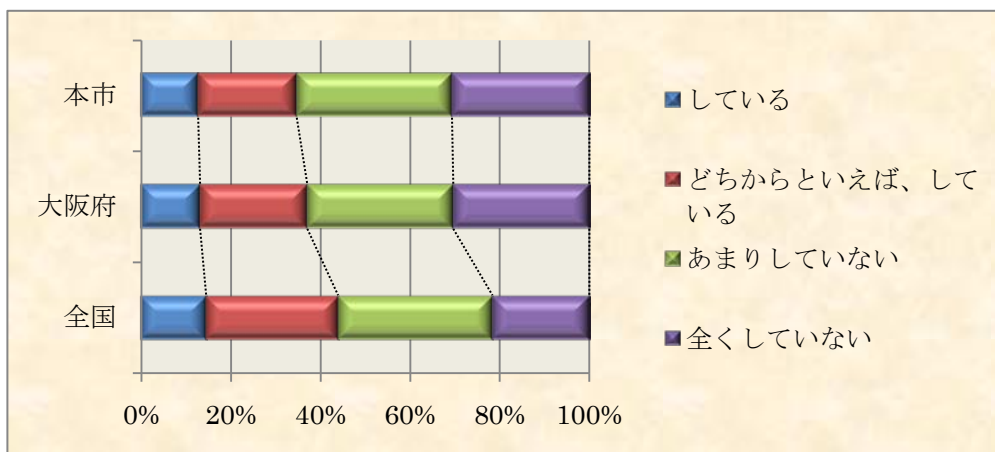
「家で苦手な教科の勉強をしていますか」

### 小学生



本市では苦手教科の勉強を全くしていない子どもの割合が全国平均より高い。

### 中学生

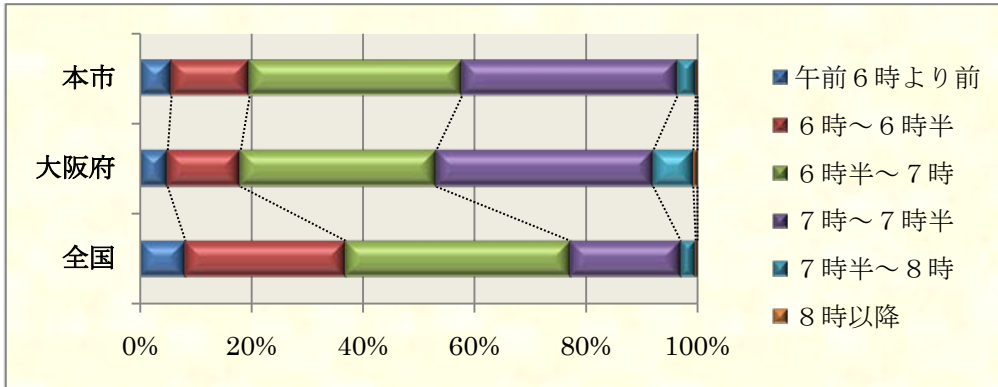


苦手教科の勉強を全くしていない子どもの割合が小学生よりも増え、3割を超えている。

## 起床時刻

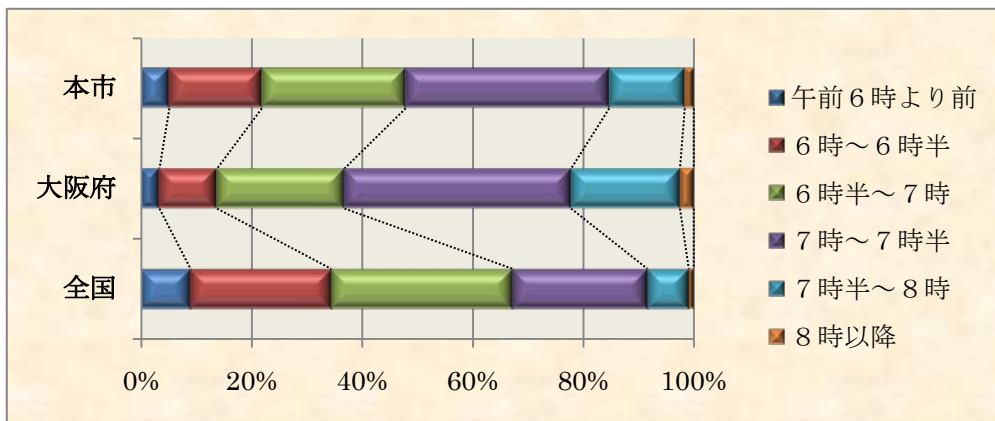
「普段（月～金曜日）、何時ごろに起きますか」

### 小学生



始業時刻1時間前の7時半でも起床していない小学生の割合が本市では全国平均より多い。

### 中学生

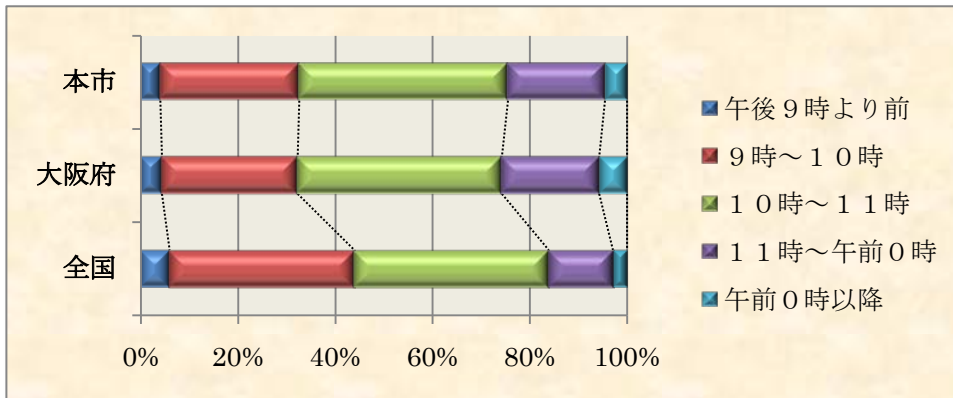


始業時刻1時間前の7時半でも起床していない中学生の割合が小学生より増え、本市では全国平均より多い。

## 就寝時刻

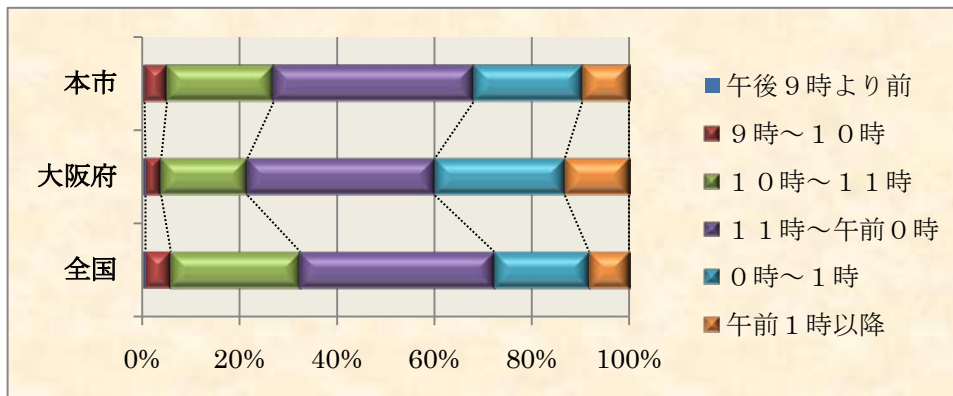
「普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか」

### 小学生



就寝時刻が11時以降の子どもの割合が全国平均より高い。

### 中学生

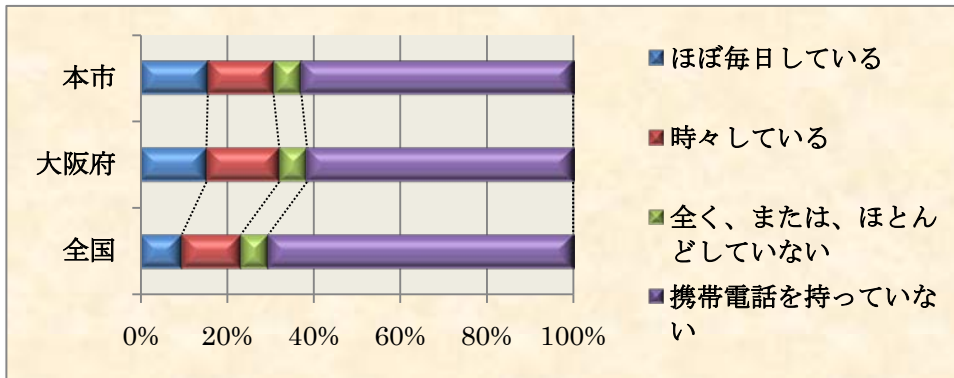


就寝時刻が午前0時以降の子どもの割合が全国平均より高い。

## 携帯電話

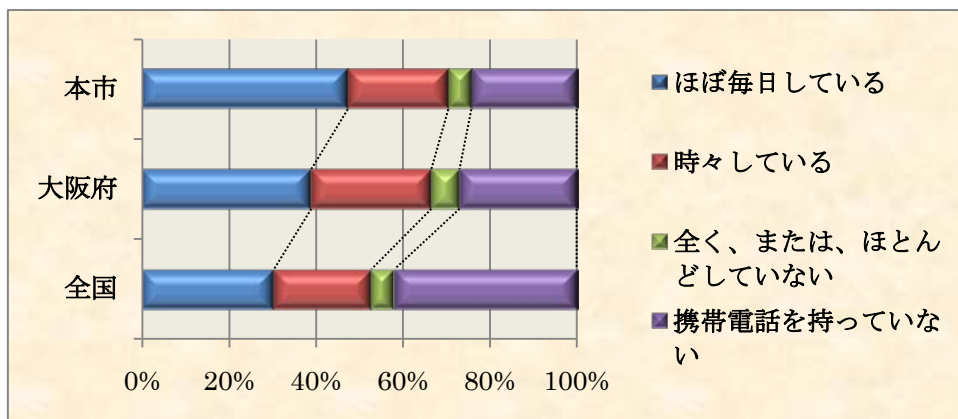
「携帯電話で通話やメールをしていますか」

### 小学生



本市の子どもの携帯電話の使用頻度は、全国平均より高い。

### 中学生



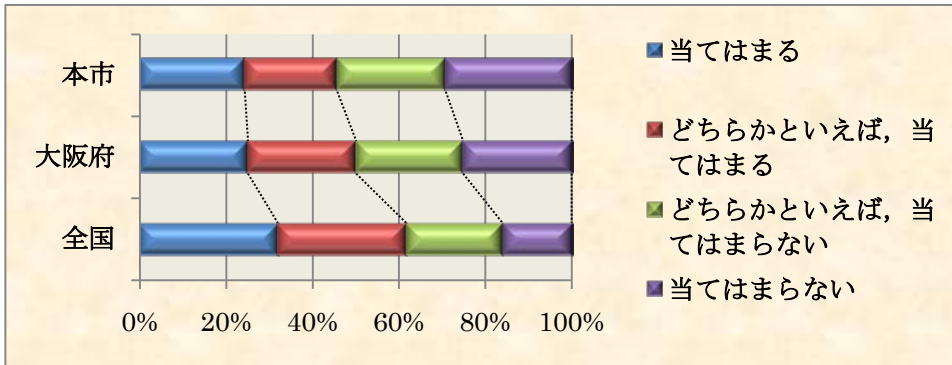
携帯電話の所有率、使用頻度は小学生から倍増している。本市の子どもの使用頻度は全国平均より高い。

## 社会に対する興味、関心

### ①地域行事への参加

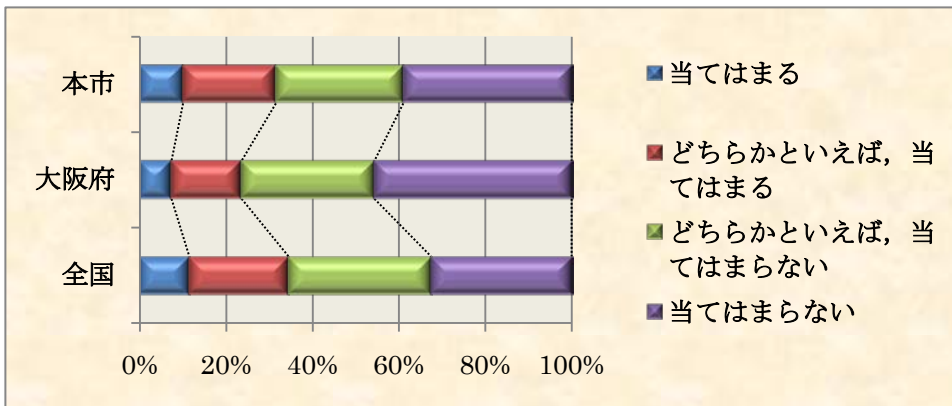
「今住んでいる地域の行事に参加していますか」

#### 小学生



地域行事に参加している子どもの割合が本市では全国平均より低い。

#### 中学生



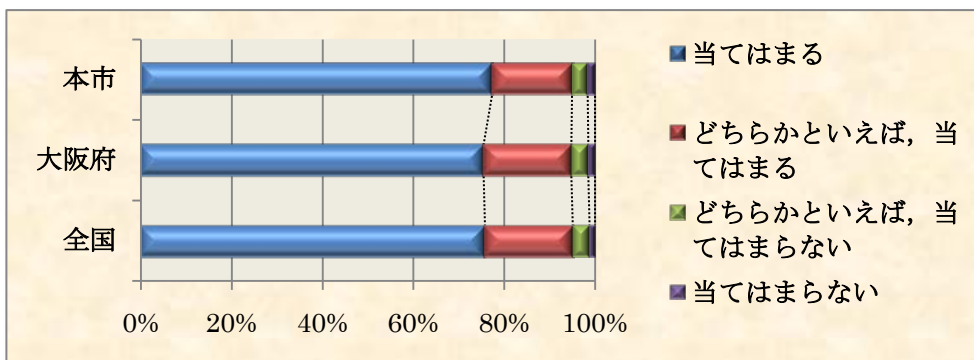
本市では地域行事に参加している子どもの割合が小学生よりも減り、その割合も全国平均より低い。

## 規範意識

いじめについて

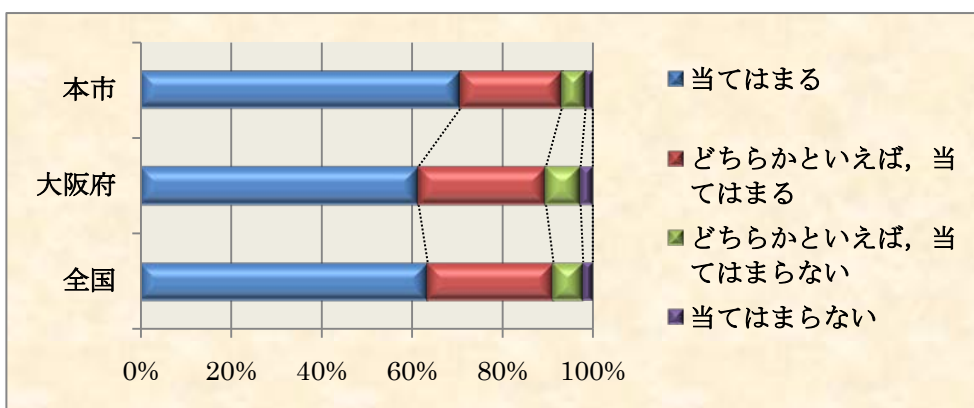
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

### 小学生



いじめは、どんな理由があってもいけないと考える本市の子どもの割合は、全国平均とほぼ同じである。

### 中学生

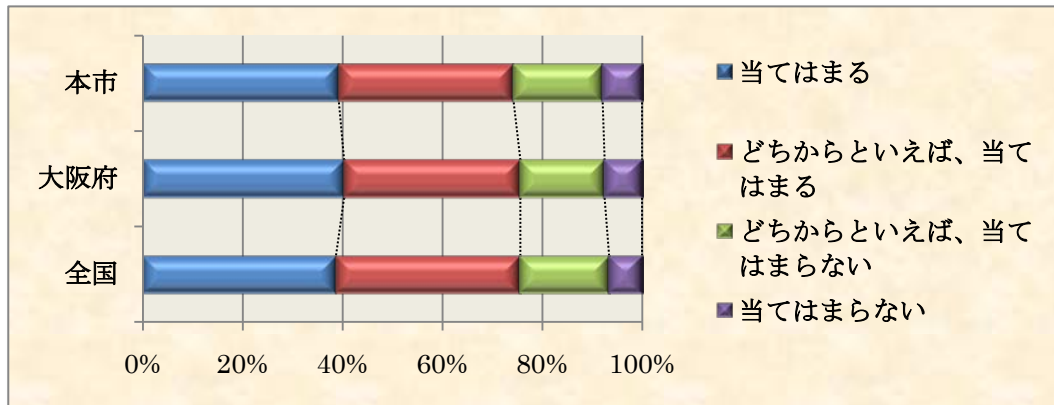


いじめは、どんな理由があってもいけないと考える本市の子どもの割合は、全国平均より高い。

## ノートを丁寧に書く

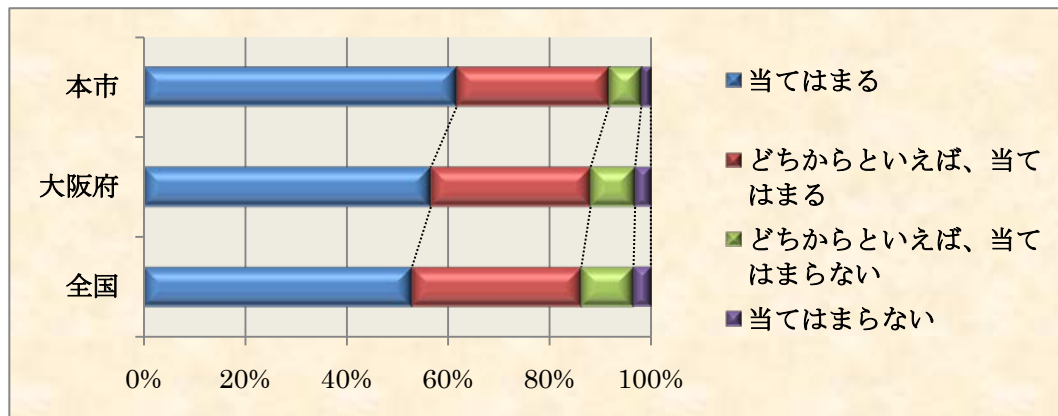
「授業では、ノートを丁寧に書いていますか」

### 小学生



ノートを丁寧に書いている子どもの割合は、本市では全国平均並である。

### 中学生



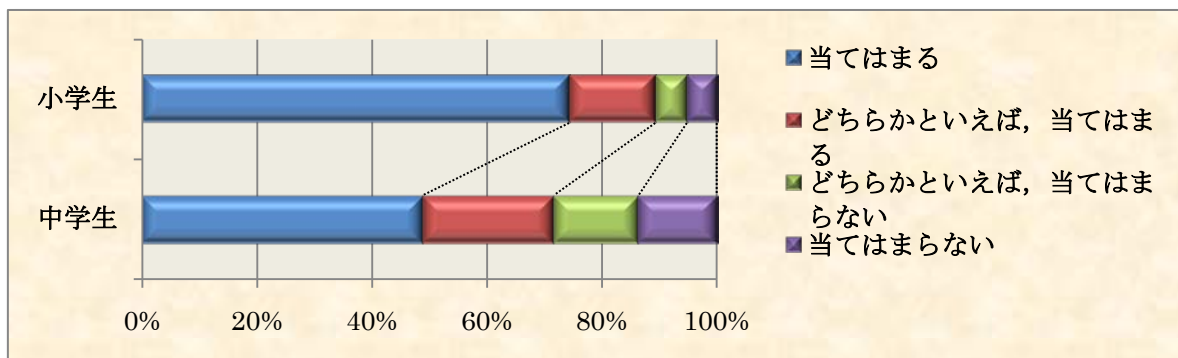
ノートを丁寧に書いている子どもの割合は、本市では全国平均を10ポイント上回っている。



# 小学校と中学校の差異が大きかったものから

## 将来の夢、目標

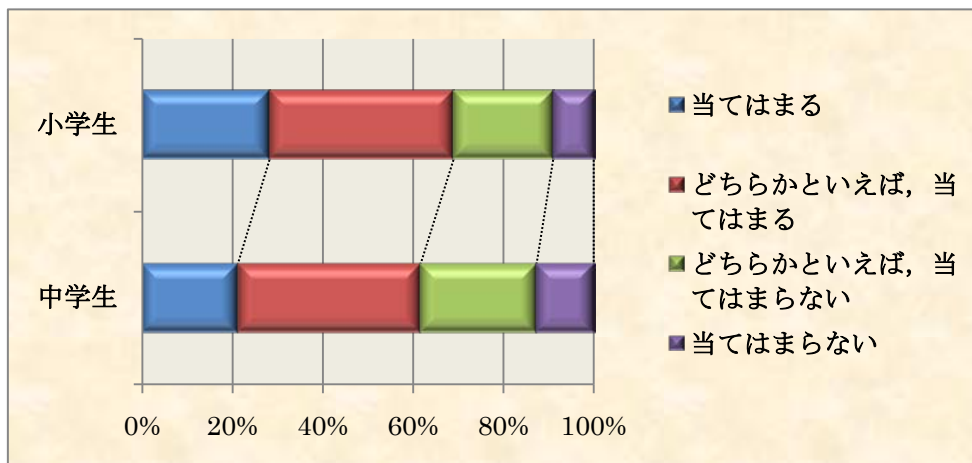
「将来の夢や目標を持っていますか」



中学生では、将来の夢や目標をもっている子どもの割合が小学生から25ポイント以上低下している。

## 自尊意識

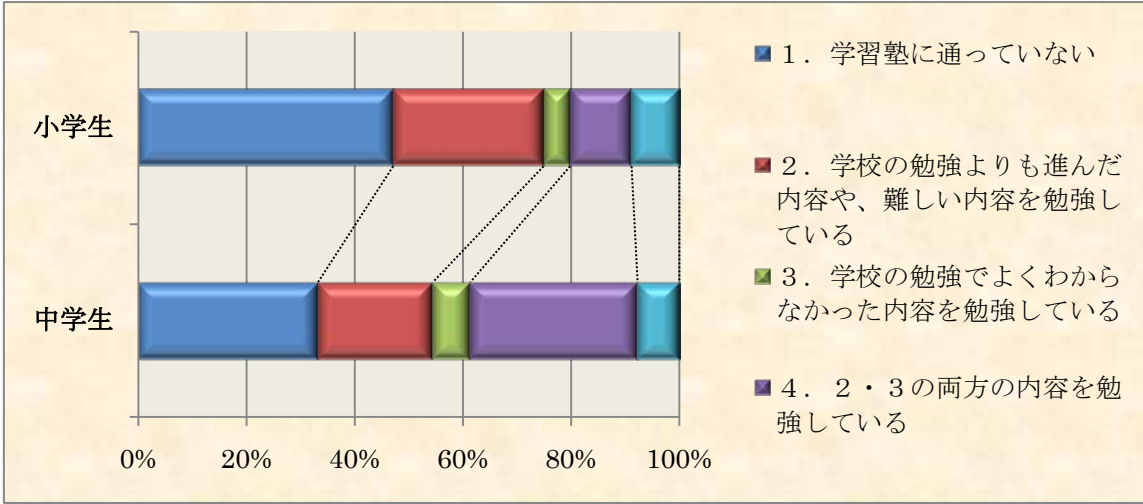
「自分には、よいところがあると思いますか」



中学生では、自分にはよいところがあると思う子どもの割合が小学生から約7ポイント低下している。

## 学習塾

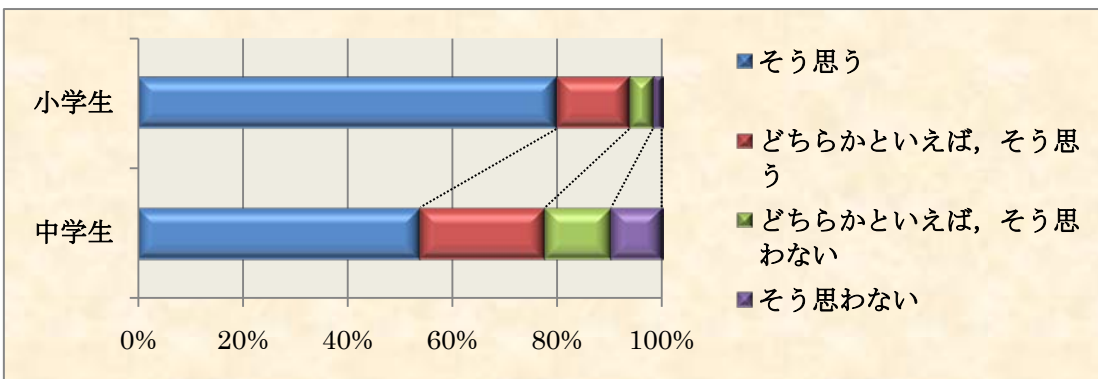
「学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか」



本市では通塾率が中学生になると14ポイントアップしている。

## 好きな授業

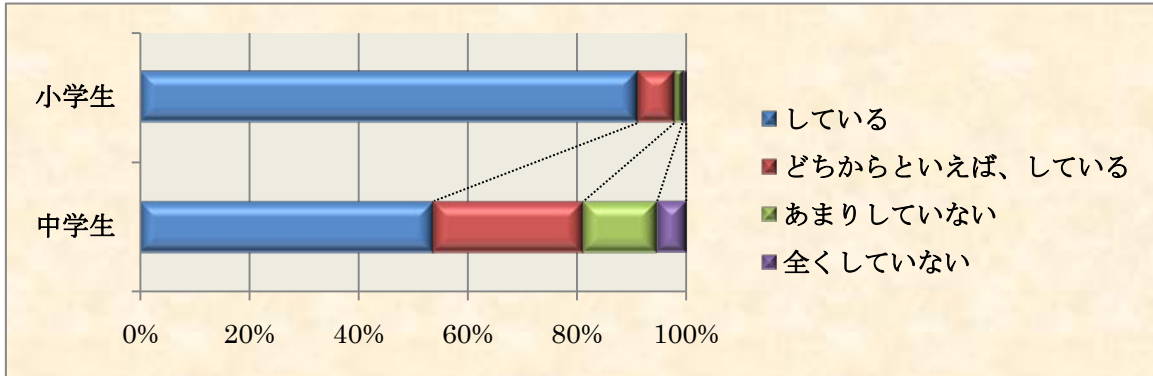
「学校で好きな授業はありますか」



学校で好きな授業がある子どもが中学生になると3割近く減っている。

## 宿題

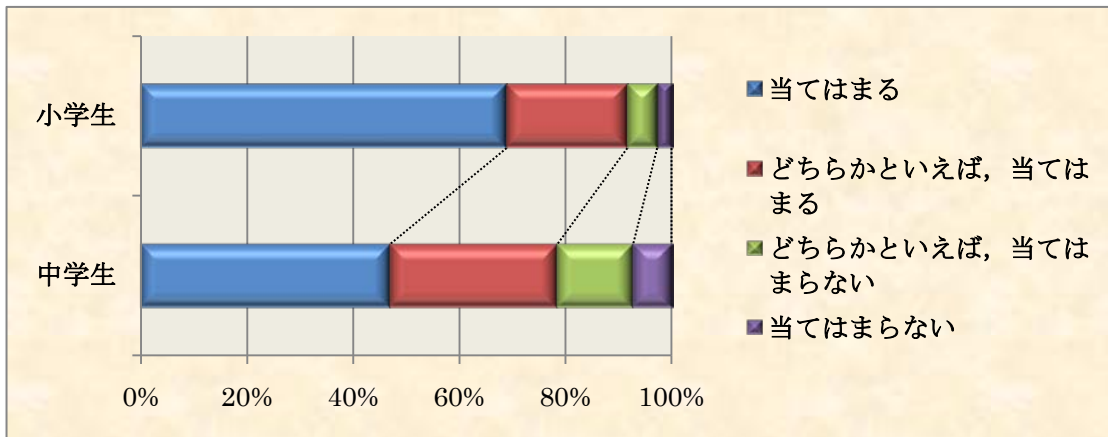
「家で学校の宿題をしていますか」



中学生になると宿題を「している」と答える子どもの割合が37ポイントも低下している。

## 算数（数学）の勉強の大切さ

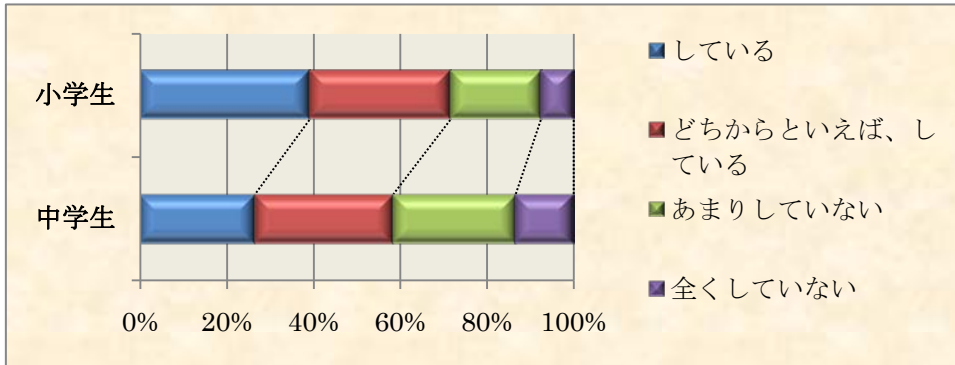
「算数（数学）の勉強は大切だと思いますか」



数学の勉強が大切と考える子どもの割合が、中学生になると約22ポイント低下している

## 家庭でのコミュニケーション

「家の人と学校での出来事について話をしていますか」



中学生になると家の人と学校での出来事について話しをしている割合が、12ポイント弱低下している。

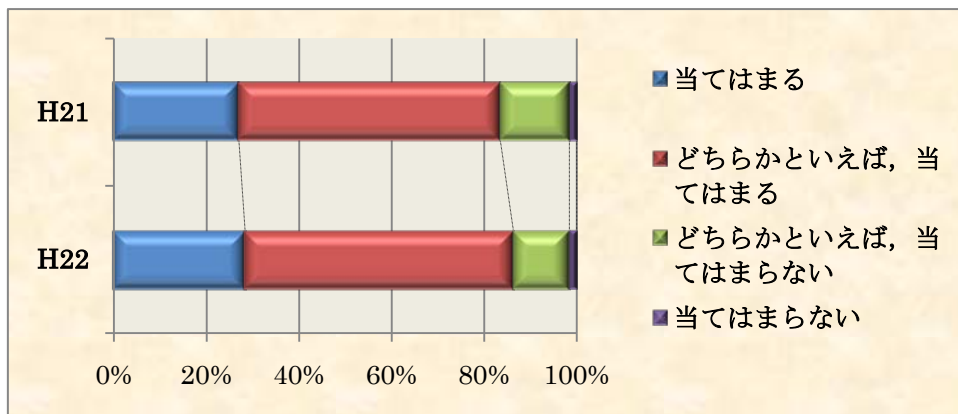
## **平成21年度の結果から変化が認められた項目**

# 平成21年度の結果から変化が認められた項目

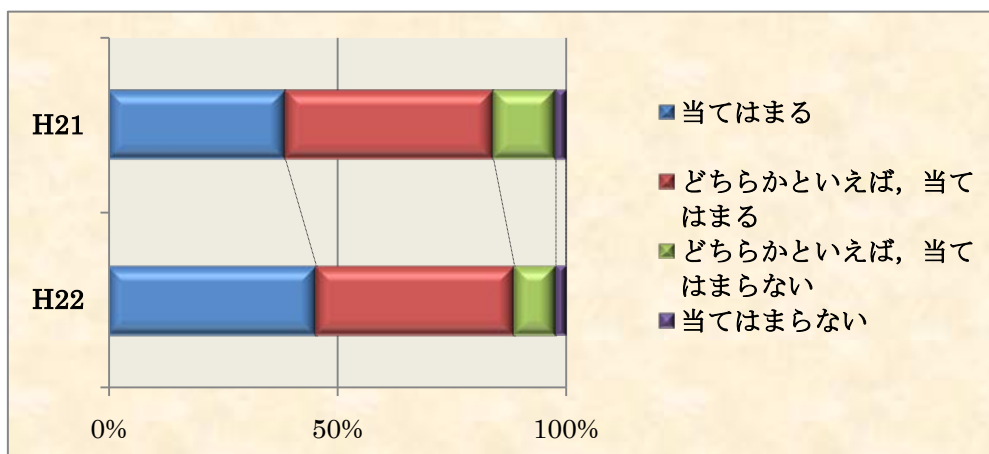
## 小学校、中学校とも変化が認められた項目

「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか」

小学生



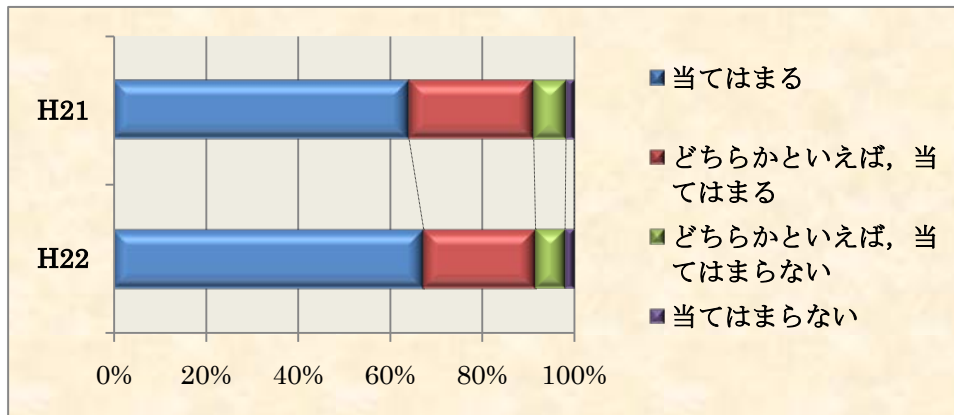
中学生



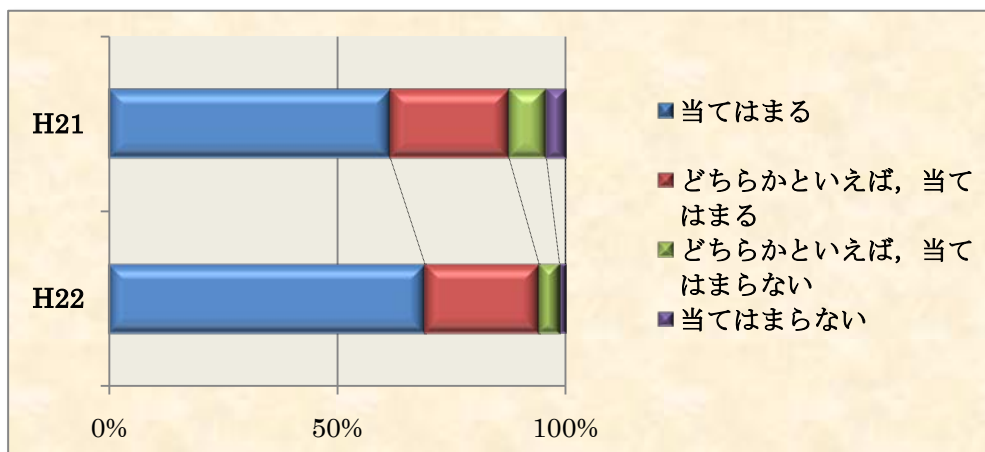
小、中学生とも、昨年よりも果敢に挑戦しようとする子どもの割合が増えている。

「将来の夢や目標を持っていますか」

小学生



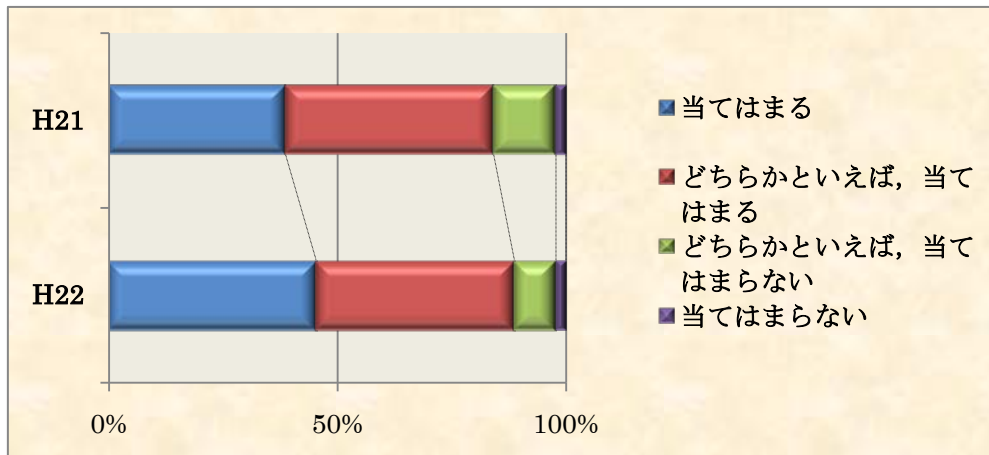
中学生



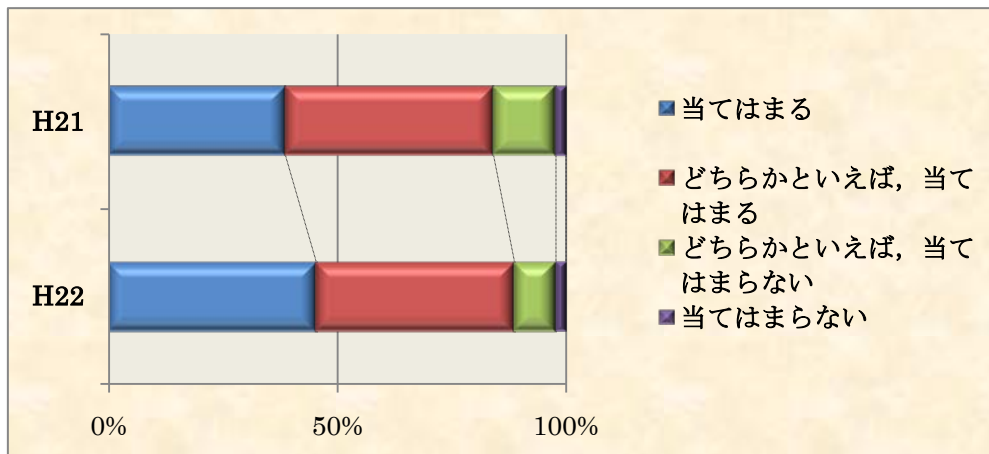
小、中学生とも、将来に対しての豊かな指針を持てる、キャリア教育が推進されている。

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

小学生



中学生

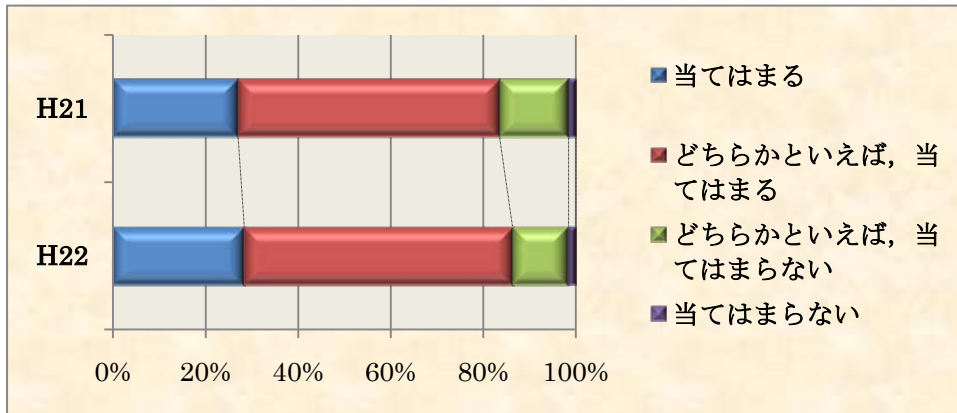


小、中学生とも、家庭の教育力の向上がみられる。

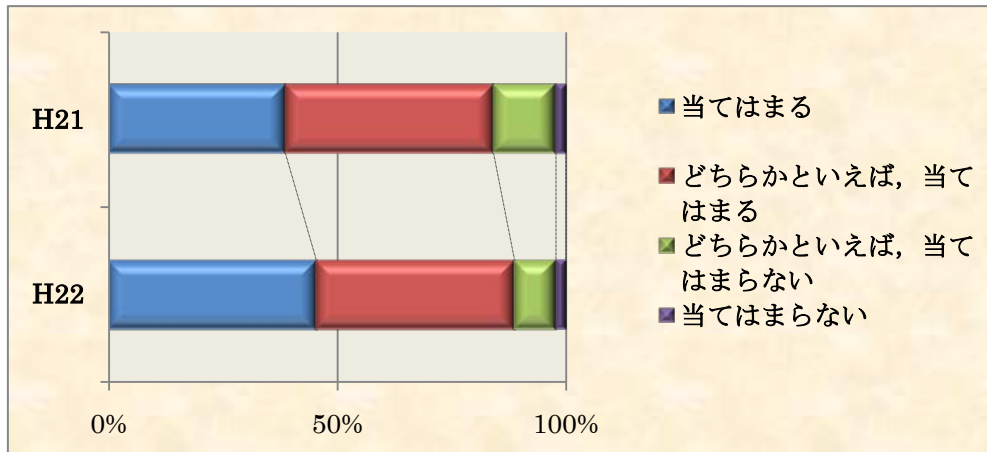


「学校で好きな授業がありますか」

小学生



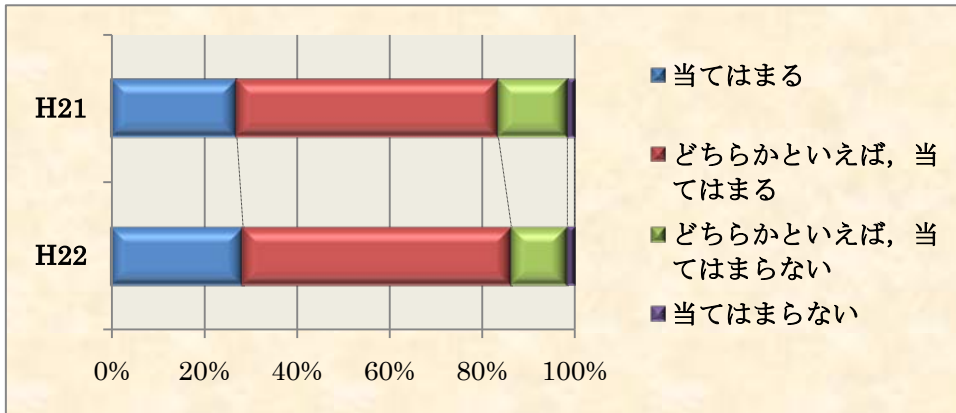
中学生



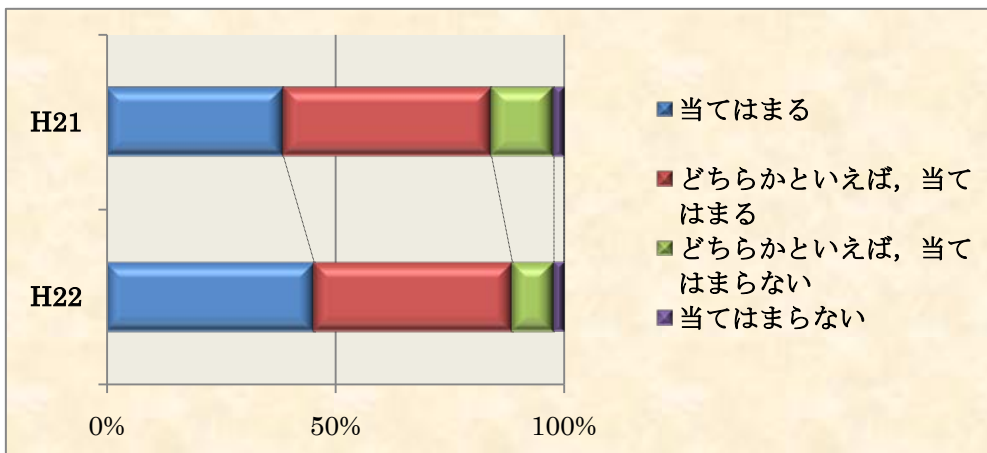
小・中学校ともに、授業力の向上がみられる。

「学校のきまりを守りますか」

小学生

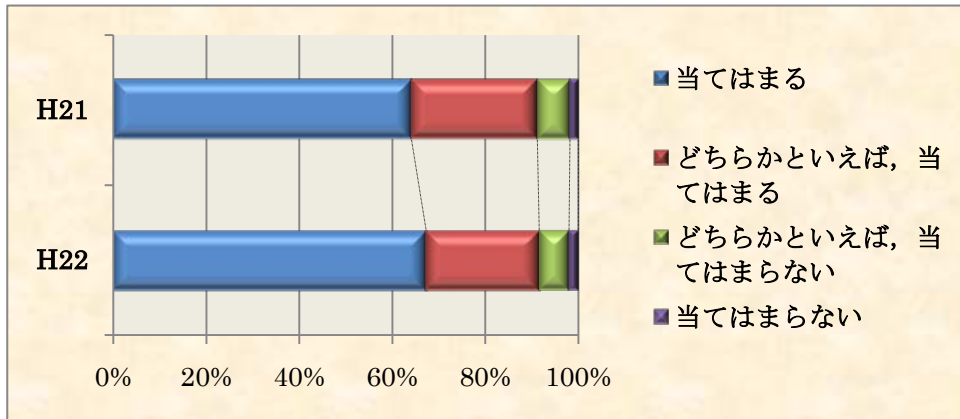


中学生

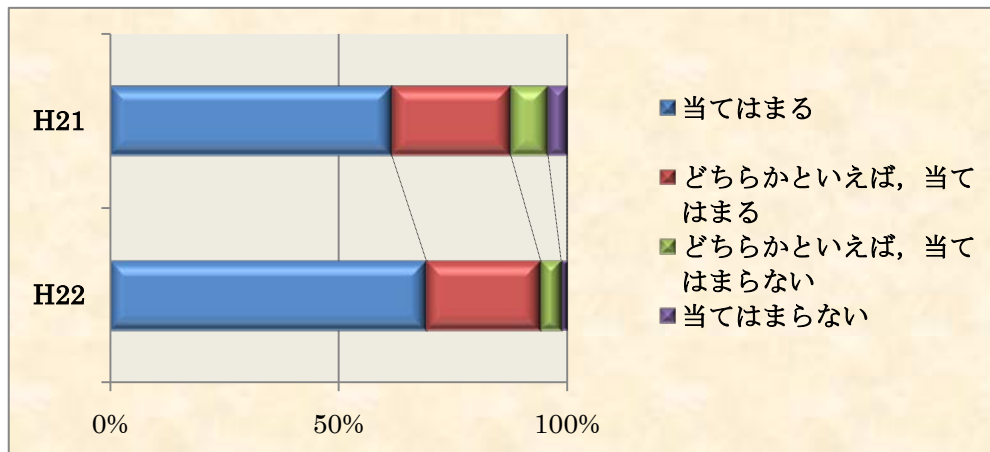


規律を守る子どもの割合が増えている。

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」  
小学生



中学生



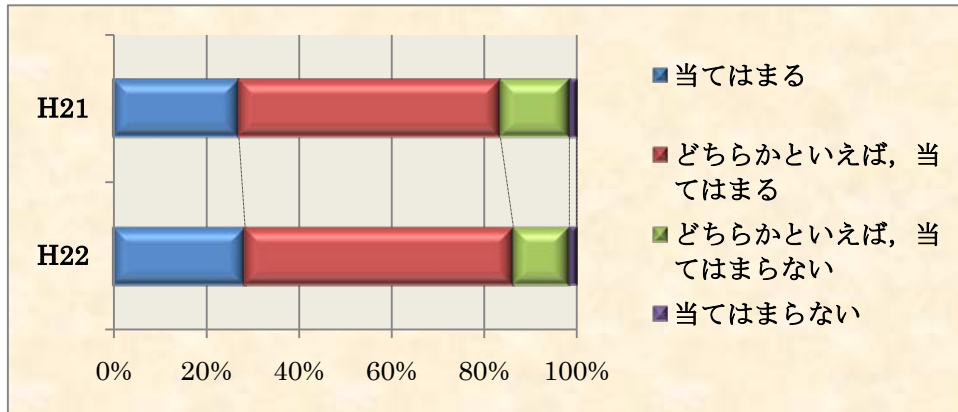
小・中学校ともに、道徳教育の推進がはかられている。

# 平成21年度の結果から変化が認められた項目

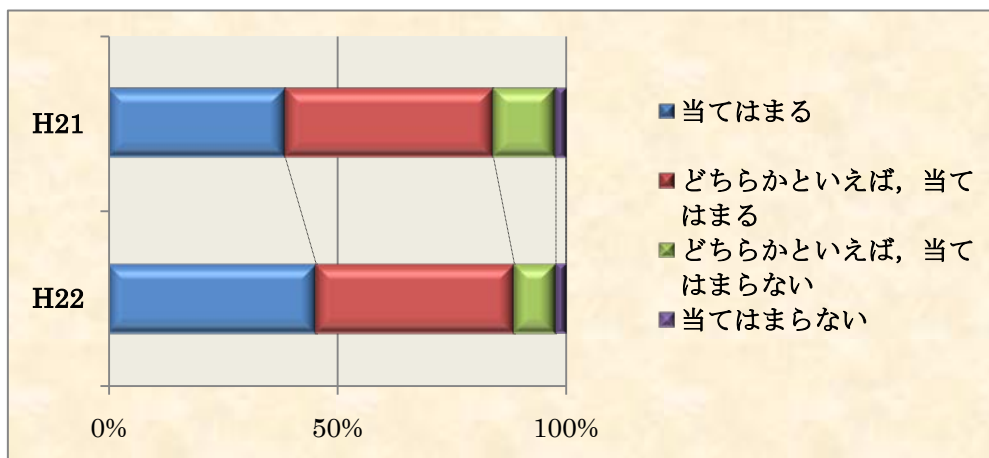
## 小学校、中学校とも変化が認められた項目

「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか」

小学生



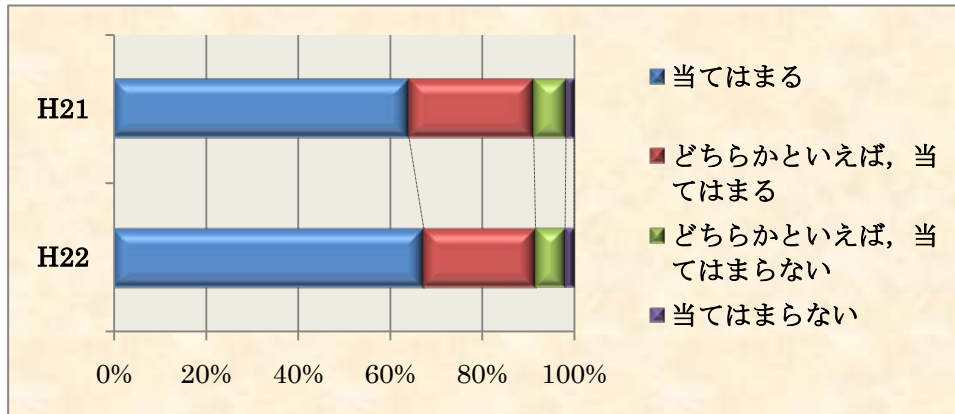
中学生



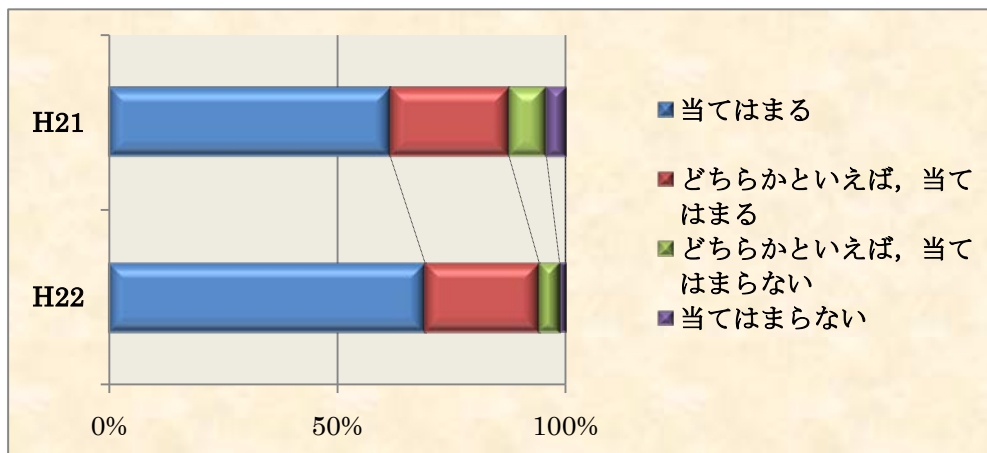
小、中学生とも、昨年よりも果敢に挑戦しようとする子どもの割合が増えている。

「将来の夢や目標を持っていますか」

小学生



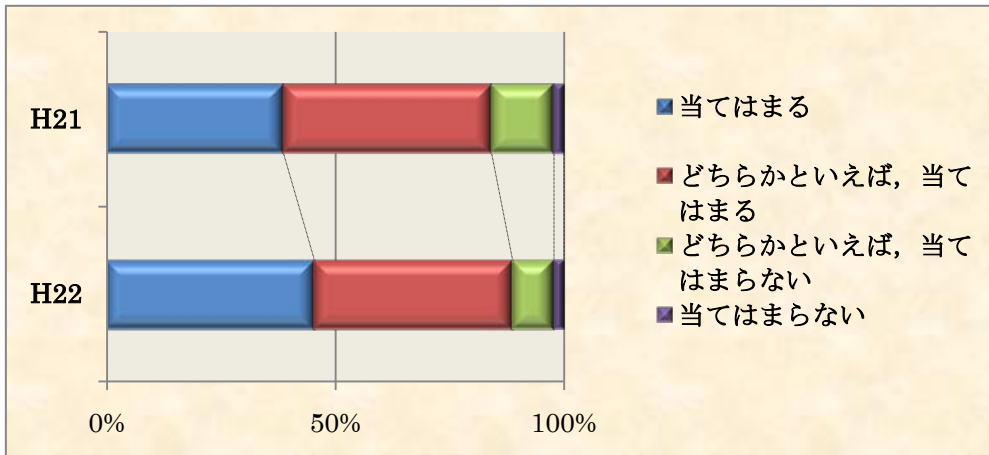
中学生



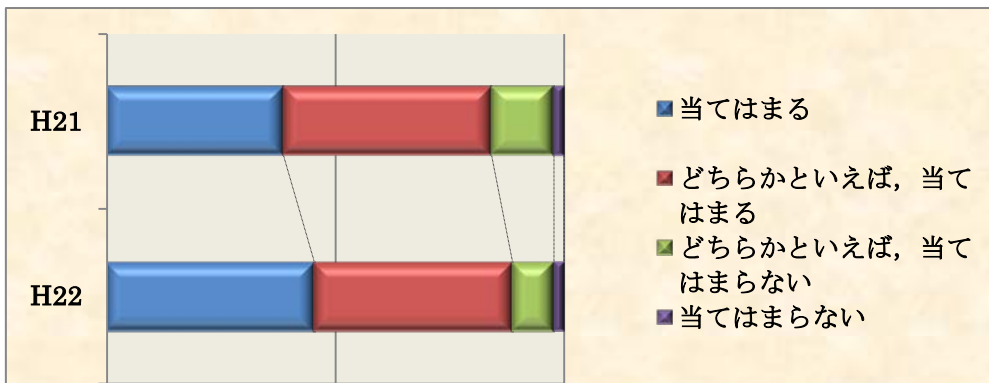
小、中学生とも、将来に対しての豊かな指針を持てる、キャリア教育が推進されている。

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

小学生



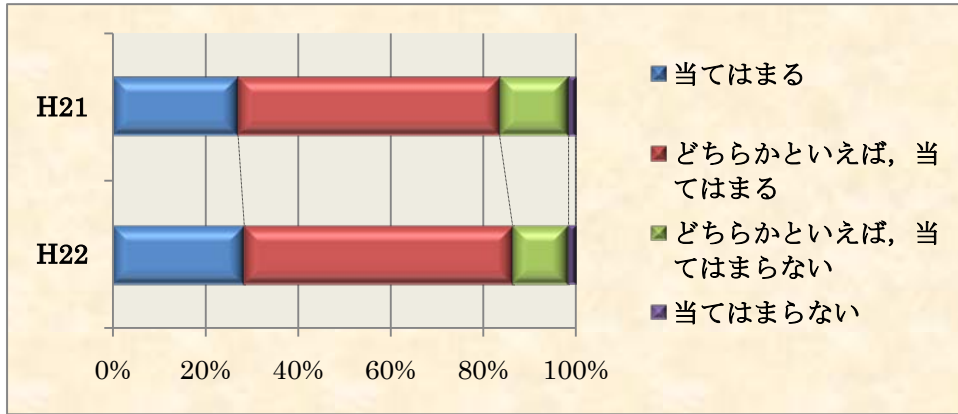
中学生



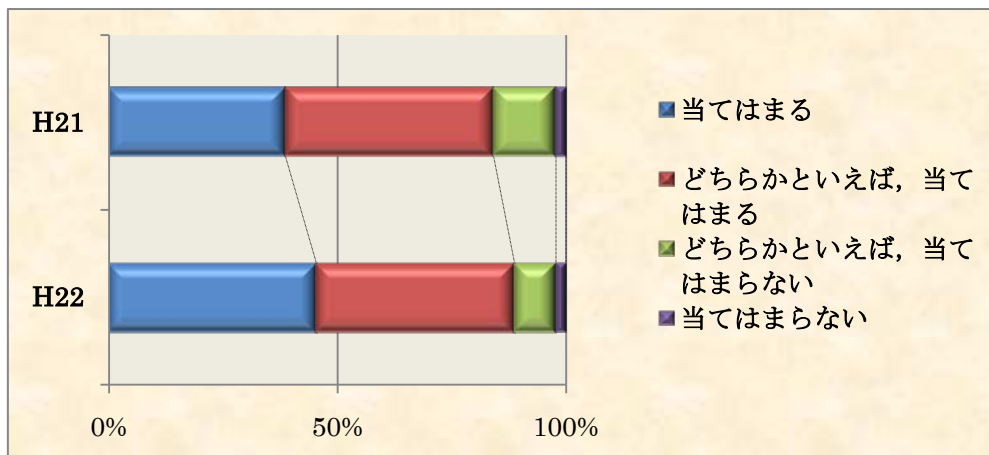
小、中学生とも、家庭の教育力の向上がみられる。

「学校で好きな授業がありますか」

小学生



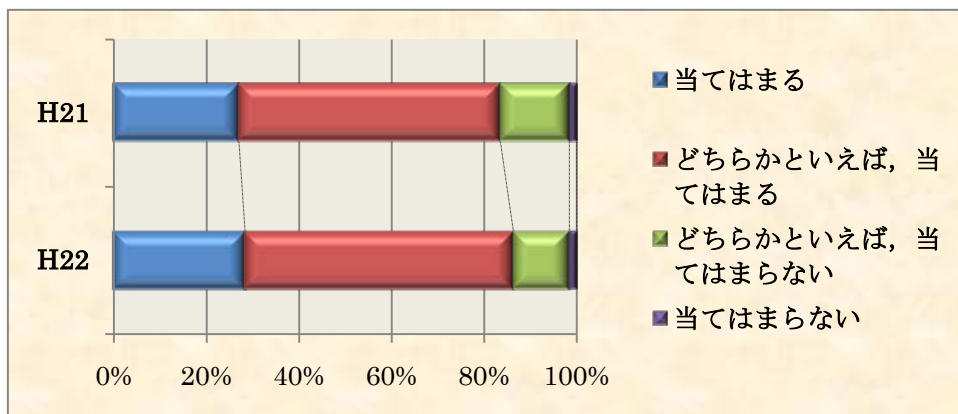
中学生



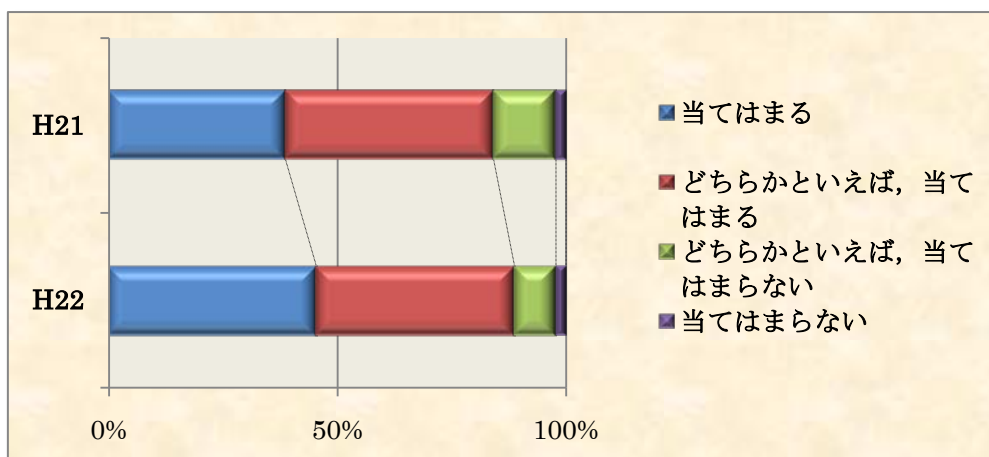
小・中学校ともに、授業力の向上がみられる。

「学校のきまりを守りますか」

小学生



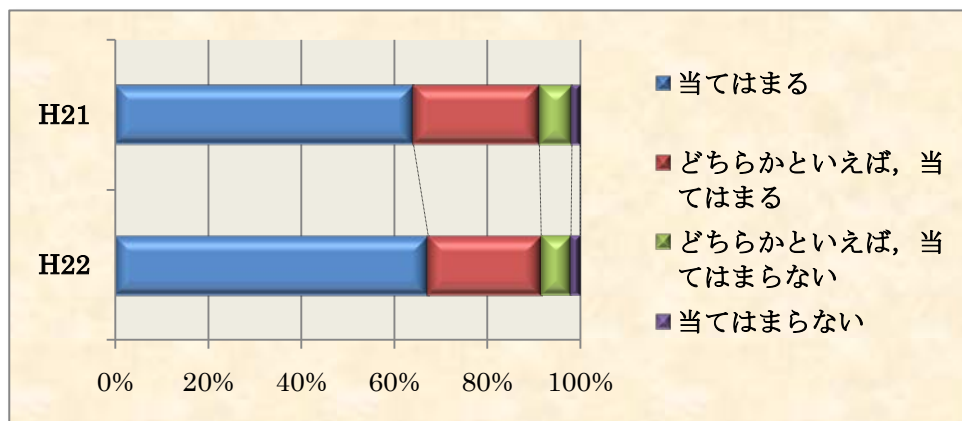
中学生



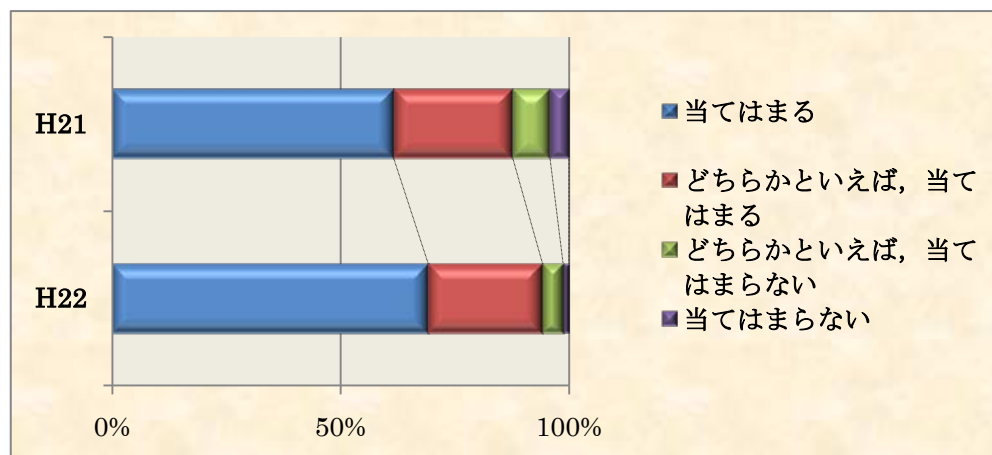
規律を守る子どもの割合が増えている。



「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」  
小学生



中学生



小・中学校ともに、道徳教育の推進がはかられている。